

KENWOOD

DVD / VCD / CD プレーヤー

DVF-S500

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございました。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

ご使用前に、「安全上のご注意」(4～9ページ)を必ずおよみください。



特長

この説明書では次のようなマークで、DVD、ビデオCD、またはCDで使用できる機能を表しています。

- DVD** : DVDで使用できる機能を表します。
- VCD** : VCD(ビデオCD)で使用できる機能を表します。
- CD** : CDで使用できる機能を表します。

DVD **S-VHS**やレーザーディスクを越える高画質

DVD 音楽**CD**よりもサンプリング周波数が高く、高音質で楽しめます

DVD **VCD** **CD** オンスクリーンディスプレイ機能

MP3、**JPEG**ファイルの再生が可能
デジタルカメラなどで撮影されたデータを再生することができます。

もくじ

準備編

はじめに.....	2
特長.....	2
もくじ.....	2
付属品.....	3
安全上のご注意.....	4
使用できるディスクについて.....	10
再生できるディスクの方式と種類.....	10
再生できないディスク.....	10
DVDディスクに表示されている各種のアイコン(絵表示)について.....	10
ビデオフォーマットについて.....	11
リジョンコード.....	11
テレビ画面のビデオフォーマットについて.....	11
知っておきましょう.....	12
メンテナンス.....	12
参考.....	12
接続のしかた.....	13
標準ビデオ入力端子(コンポジット端子)のあるテレビとの接続.....	13
Sビデオ入力端子のあるテレビとの接続.....	13
D端子のあるテレビとの接続.....	14
オーディオビデオ機器との接続.....	15
各部の名前.....	16
リモコンの操作.....	17
初期設定を変更する.....	18
初期設定の準備.....	18
セットアップメニュー画面.....	18
音声言語を選ぶ.....	20
字幕言語を選ぶ.....	20
ディスクメニュー言語を選ぶ.....	21
OSD言語を選ぶ.....	21
テレビ画面を選ぶ(テレビアスペクト).....	22
ピクチャーモードを選ぶ.....	22
テレビモードを選ぶ.....	23
オーディオ出力を選ぶ.....	23
ダウンミックスモードを選ぶ.....	24
ダイナミックレンジを選ぶ.....	24
パスワードの変更.....	25
視聴制限レベルの選択.....	25

! のついた項目は安全確保のために必ずお読みください。

スクリーンセーバーONまたはOFFを選ぶ.....	26
アングルのON/OFFを選ぶ.....	26
工場出荷時の状態に戻す.....	27
DVDメニュー言語コード表.....	28

操作編

ディスクの再生.....	29
基本的な使いかた.....	29
ディスクの色々な再生.....	30
オンスクリーン表示.....	31
色々な再生.....	32
音声言語を選ぶ.....	32
音声出力のチャンネルを切り換える.....	32
字幕言語を選ぶ.....	32
カメラアングルを選ぶ.....	33
ランダム再生.....	33
リピート(繰り返し)再生.....	34
A-Bリピート再生.....	34
ブックマーク機能を使う.....	35
プログラム再生.....	36
ビデオCDのメニュー再生をするには.....	37
VCDメニューの階層構造について.....	37
P.B.C.機能付きVCDで、メニュー再生機能を使わない再生.....	37
(P.B.C.メニュー機能オフ)をするには.....	37
MP3、JPEGメディア(ディスク)の再生.....	38
MP3、JPEGの手引き.....	38
MP3、JPEGファイルの再生.....	39
再生するファイルを直接選択する.....	41
画像を回転させる(JPEGファイルのみ).....	41
画像を拡大・縮小する(JPEGファイルのみ).....	41
MP3、JPEGランダム再生.....	42

その他

故障かな?と思ったら.....	43
! 定格.....	45
保証とアフターサービス(よくお読みください).....	46
ケンウッドサービス網.....	47

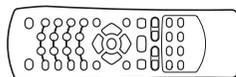
付属品

次の付属品がそろっていることを確認してください。

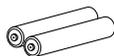
光ファイバーケーブル (1)



リモコン (1)



リモコン用乾電池（単4） (2)



ビデオコード(黄) (1)



オーディオコード(白赤) (1)



製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書（安全編）では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。

図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。

図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

この「安全上のご注意」には、当社のオーディオ機器全般についての内容を記載しています。
（説明項目の中には、操作説明部と重複する内容もあります。）

交流 100 ボルト以外の電圧で使用しない



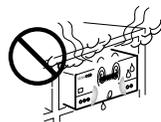
この機器は、交流 100 ボルト専用です。
指定以外の電源電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

放熱に注意



設置の際は、壁から 10cm 以上離してください。
機器のカバー等にある穴は、放熱のための通風孔ですので、ふさがないようにご注意ください。

- あおむけや横倒し、逆さまにして使用しない。
- 風通しの悪い狭い所に押し込まない。
- 布を掛けたり、じゅうたん、布団の上において使用しない。



通風孔がふさがると、内部に熱がこもり、火災の原因となります。

風呂、シャワー室では使用しない



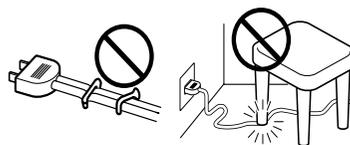
風呂、シャワー室など湿度の高いところや、水はねのある場所では使用しないでください。
火災・感電の原因となります。



電源コードの取扱い



電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、ステープルや釘などで固定しないでください。また、電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードを敷物などで覆ってしまうと、気づかずに重いものをのせてしまうことがあります。
コードが傷つき、火災・感電の原因となります。



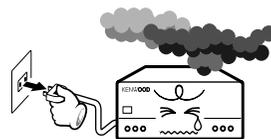
電源コードが傷ついたら（芯線の露出、断線など）修理をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



異常が起きた場合は



煙が出たり、変な臭いや音がする場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。



電源プラグは清潔に



電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

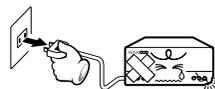


落下した機器は使わない



機器を落としたり、カバーやケースがこわれた場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



ケースを絶対に開けないでください



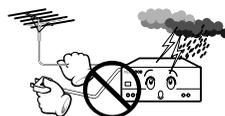
機器の裏ふた、カバーを開けたり、改造をしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。点検、修理は販売店または当社サービス窓口にご依頼ください。



雷が鳴り始めたら



アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



機器の内部に水や異物を入れない



機器の上に花瓶やコップなど水の入った容器を置かないでください。こぼれて中に入ると、火災・感電の原因となります。



機器の通風孔、開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。



内部に水や異物などが入った場合は、まず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



電池は放置しない



電池は、幼児の手の届かないところへ置いてください。ボタン電池など小型の電池は特にご注意ください。

電池をあやまって飲み込むおそれがあります。

万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

乾電池は充電しない

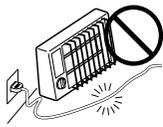


乾電池は充電しないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となります。



電源コードを熱器具に近づけない

- ❌ 電源コードを熱器具（ストーブ、アイロンなど）に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



不安定な場所には置かない

- ❌ ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



湿気やほこりのある場所に置かない

- ❌ 油煙や湯気の当たる調理台、加湿器のそば、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。火災・感電の原因となります。



温度の高い場所には置かない

- ❌ 窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。



電源プラグの抜き差しは

- ❌ ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

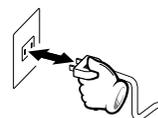
- ❌ 電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。



コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

- ⚠ 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。



差し込みが不完全ですと発熱したりほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

長期間使用しないときは



旅行などで長期間、ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災の原因となることがあります。

機器に乗らない



この機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。
倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。



指定以外のコードを使わない



関連機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。
指定以外のコードを使用したりコードを延長すると発熱し、やけどの原因となることがあります。

指をはさまない



お子様がカセットテープ、ディスク挿入口に手を入れないようご注意ください。
指がはさまれて、けがの原因となることがあります。

指定機器以外の物を乗せない



この機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きな物を置かないでください。
バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



レーザー光源はのぞかない



レーザー光源をのぞき込まないでください。
レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。

ひび割れディスクは使わない



ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。
ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。

アンテナ工事



アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。
アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。
アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

音量に気をつけて



はじめに音量（ボリューム）を最小にしてください。
突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。
ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにしてください。
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

移動させる際は



移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。
コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。



電池の取扱い



電池は誤った使い方をすると、破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を破損する原因となることがあります。
次のことを、必ず守ってください。
●極性表示（プラス“+”とマイナス“-”の向き）に注意し、表示通りに入れてください。



- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてください。

お手入れの際は



お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電の原因となることがあります。



3年に1度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。販売店、または最寄りのケンウッドサービス窓口にて費用を含めご相談ください。
内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。

再生できるディスクの方式と種類

本システムでは、CDで音楽を楽しむだけでなく、以下のディスクを再生することにより、映画やライブなどの映像を高画質で楽しむことができます。

再生できるディスク	DVD (DVD-VIDEO)		CD (CD-R, CD-RW)		VCD (VCD Ver.2.0,SVCD*)		
ディスクに表示されているロゴマーク							
ディスクの大きさ	 8cm	 12cm	 8cm	 12cm	 8cm	 12cm	
再生面	片面または両面	片面または両面	片面のみ	片面のみ	片面のみ	片面のみ	
内容	映像+音声	約41分(片面1層) 約75分(片面2層) 約82分(両面1層) 約150分(両面2層)	約133分(片面1層) 約242分(片面2層) 約266分(両面1層) 約484分(両面2層)	/		最大20分	最大74分
	音声	/				最大20分、デジタル	最大80分、デジタル

MP3 ディスクや、JPEG画像も再生可能です。(CD-R, CD-RW) → 39

- 本機はSVCDの再生が可能ですが、一部働かない機能もあります。
- CD-R/RW再生の場合制作者の意図や、録音状態その他によって再生できない場合があります。

再生できないディスク

次のディスクは再生できません。

- DVD-ROMディスク
- DVD-RAMディスク
- DVD-R/ DVD+R/ DVD-RW/ DVD+RW ディスク
- SACDディスク
- CD-ROM (MP3, JPEGディスク [ISO 9660 level 1規格]を除く)
- VSDディスク
- CDVディスク (音声部分のみ再生可能)
- CD-G、CD-EG、CD-EXTRAディスク (音声部分のみ再生可能)
- フォトCDディスク (絶対に再生しないでください)

- リジョンコードがなかったり、2、ALL以外のリジョンコードのDVDディスクは再生できません。 → 11
- ご使用のテレビとフォーマットの異なるビデオフォーマットのディスクは正常に再生できません。 → 11

DVDディスクに表示されている各種のアイコン(絵表示)について

アイコン	意 味
	再生可能な地域番号(リジョンコード)を示します。
	オーディオ機能の言語数を示します。アイコン中に表示されている数字が言語数を表します。(最大8ヶ国語)
	サブタイトル機能の字幕言語数を示します。アイコン中に表示されている数字が言語数を表します。(最大32ヶ国語)
	アングル機能のアングル数を示します。アイコン中に表示されている数字がアングル数を表します。(最大9アングル)
	選ぶことのできるアスペクト比を示します。(→ 18、→ 22)左の例では16:9の映像からレターボックスに変換できることを表しています。

リジョンコード

本機の地域番号(リジョンコード)

DVDでは、国ごとに割り当てられた地域番号(リジョンコード)が定められており、DVDディスクに表示されている地域番号(リジョンコード)と一致しないと再生できません。

 本機の地域番号(リジョンコード)は"2"です。

本機で再生できるDVDディスクの地域番号について

本機で再生できるDVDディスクは、本機の地域番号(リジョンコード)と一致した番号"2"が表示されているディスク、または本機の地域番号(リジョンコード)の含まれた表示のあるディスク、下の"ALL"表示のあるディスクのみです。また地域番号(リジョンコード)の表示のないディスクでも、制限がある場合があります、本機で再生できないことがあります。



ディスクの違いによる制限について

DVD、VCDは、ソフト制作者の意図により、再生状態が決められていることがあります。本機では、ソフト制作者が意図したディスクの内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずお読みください。

操作中に、本機に接続したテレビの画面に禁止アイコンが表示されることがありますが、上記の制限状態にあることを示します。



テレビ画面のビデオフォーマットについて

テレビ画面のビデオフォーマット

テレビの画面表示方式およびディスクの信号方式には大きく分けて二つのタイプ(PAL/NTSC)があり、国や地域によって違います。(右図参照)このため、お使いになるテレビの方式(国や地域)に合わせて、ディスクを選ぶ必要があります。

主な国のテレビ方式

TVの方式	主な国や地域
NTSC	日本、台湾、韓国、アメリカ、カナダ、メキシコ、フィリピン、チリ...など
PAL	中国、北朝鮮、イギリス、ドイツ、オーストラリア、ニュージーランド、クエート、シンガポール...など

DVD/VCDディスクのビデオフォーマットの設定

本機はビデオフォーマットの切替ができます。初期設定はNTSC方式です。(→[18](#))

通常日本国内で使用する場合はテレビの方式も販売されているディスクもNTSC方式です。

メンテナンス

セットのお手入れ

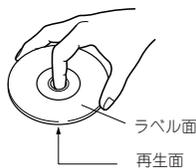
前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

接点復活剤について

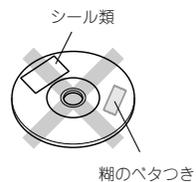
接点復活剤は、故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を変形させることがあります。

参考

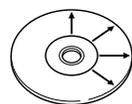
ディスク取扱上のご注意



取り扱い
再生面にふれないように持ってください。



再生面はもちろん、ラベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。



お手入れ
ディスクに指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで、放射状に軽くふき取ってください。

保存
長い間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

異常なディスクは使用しない

再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや欠けのあるディスク、大きくそったディスク等は絶対に使用しないでください。プレーヤーの破損、故障の原因になります。円形以外の形をしたディスクは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

本機で使用できるディスクについて

CD (12cm、8cm)、CD-R、CD-RW および CD-G/CD-EG (CDグラフィックス)、CD-EXTRAの音声部分が再生できます。ディスクレーベル面に  のマークが入ったものなど JIS規格に合格したものをご使用ください。このマークが入っていないディスクは、正しく再生できない場合があります。

ディスクアクセサリについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ(スタビライザー、保護シート、保護リングなど)およびレンズクリーナーは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

レンタルディスク、中古ディスクの取り扱いについて



クランピング
エリア

図の様にクランピングエリアにシールが貼られているディスクはご使用にならないでください。シールから糊がはみ出したり金属板が貼られている場合があり、ディスクが取り出せなくなる恐れがあります。シール類をはがした後、糊がラベル面に残っていると、故障の原因になります。糊のベタつきがある場合、必ずふき取ってからご使用ください。

CD-R/CD-RWディスクについて

レーベル面に印刷可能なCD-R/CD-RWを使用すると、レーベル面が貼り付いてディスクの取り出しができないことがあります。本機の故障の原因となるため、このようなディスクは使用しないでください。

輸送時または移動時のご注意

本機を輸送するときや、移動するときは、下記の操作を行って、ディスクの入っていないことを確かめてください。

1. **⏻ (POWER)**キーをオンにします。
2. 数秒待つて、表示部に下の表示になったことを確かめてください。

NO DISC

3. **⏻ (POWER)**キーをオフにします。

結露にご注意

本機と外気の温度差が大きいと、本機に水滴(露)が付くことがあります。この現象がおきますと、本機が正常に動作しないことがあります。このようなときには、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。

次のような状態のときは、特に結露にご注意ください。
気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋など。

ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快適な生活環境を守りましょう。



目のエチケット

下図のように接続してください。

関連システム製品を接続するときは、関連機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

⚠注意

接続が終了するまで、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。また、接続を変更する場合も電源コードをコンセントから抜いて、接続の変更を行ってください。

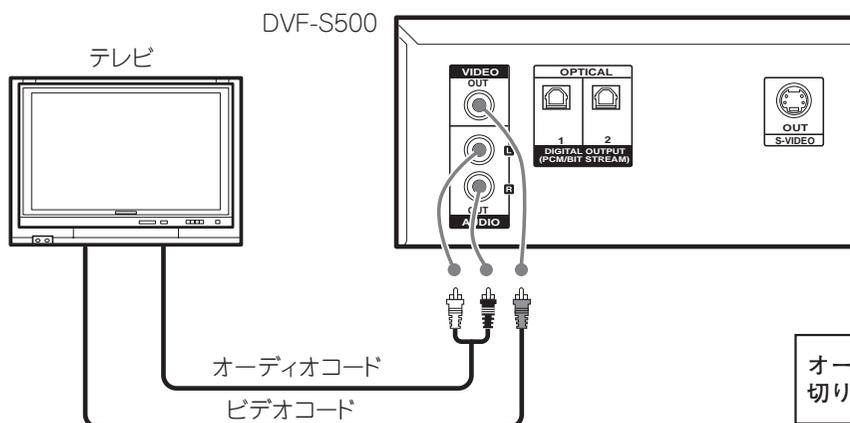
マイコンの誤動作について

正しく接続したのに操作ができなかったり、ディスプレイが誤った表示をする場合は、「故障かな?と思ったら...」を参照してマイコンをリセットしてください。 →(43)

設置のご注意

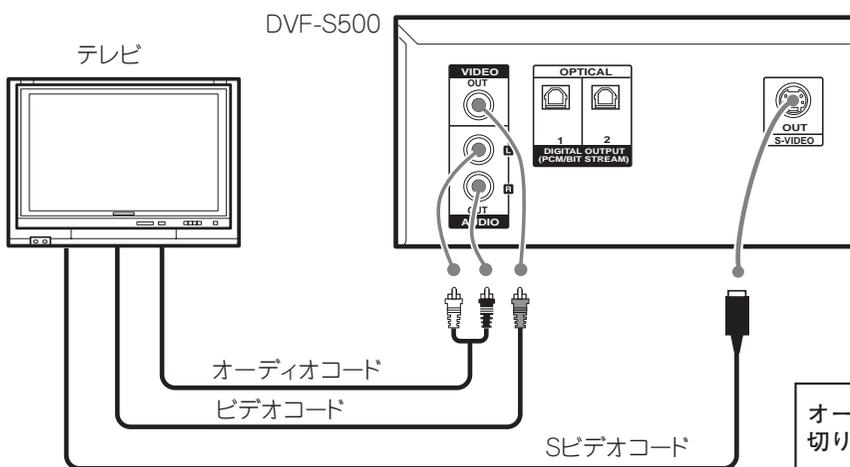
過熱による火災の原因となりますので、放熱の妨げになるものを天板の上に置かないでください。

標準ビデオ入力端子(コンポジット端子)のあるテレビとの接続



オーディオ出力をアナログに切り換えて下さい →(19) →(23)

Sビデオ入力端子のあるテレビとの接続



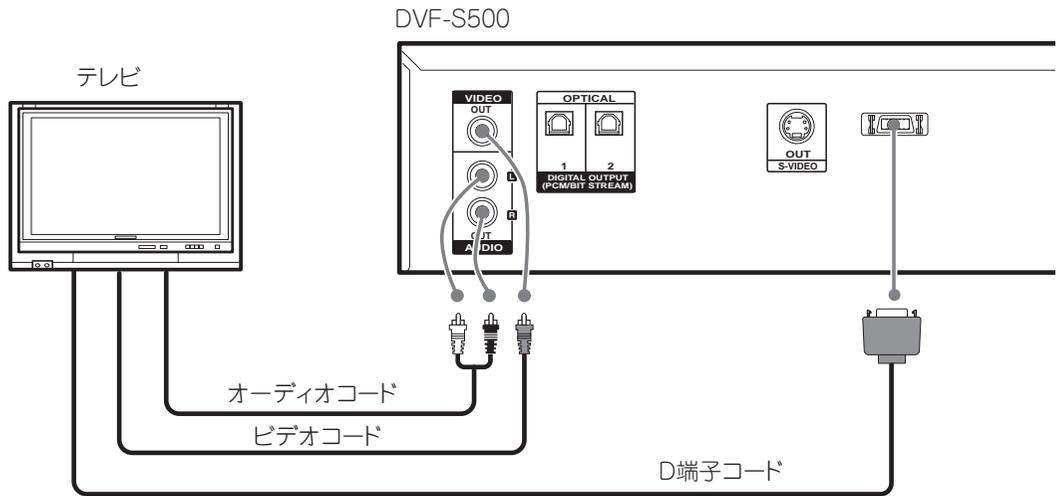
オーディオ出力をアナログに切り換えて下さい →(19) →(23)

テレビとの接続

テレビと接続するときのご注意

本機とテレビは直接接続してください。ビデオデッキを経由して接続すると(ビデオ一体型テレビのビデオ入力端子に接続した場合も)、コピー防止機能が働き、再生のときに画像が乱れることがあります。

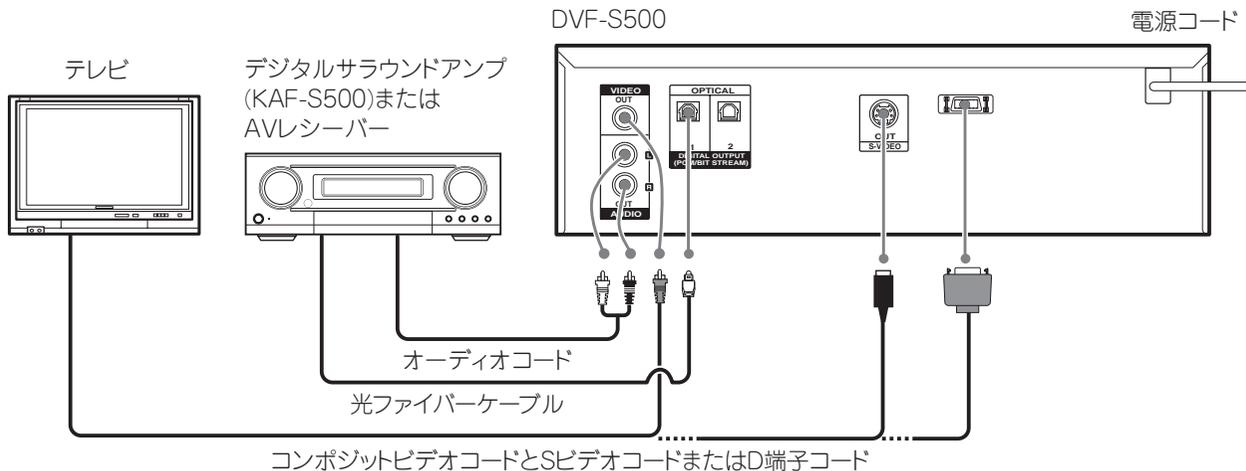
D端子のあるテレビとの接続



オーディオ出力をアナログに切り換えて下さい→[19](#)→[23](#)

オーディオビデオ機器との接続

DTSオーディオディスクを再生する場合はデジタル接続でDTSの再生ができるデジタルサラウンドアンプ(KAF-S500)や、AVレシーバーを接続してください。



オーディオ出力をアナログまたは、ビットストリーム、PCMに切り換えて下さい。
→ 19 → 23

ドルビーデジタル(AC-3)デコーダーを内蔵しているデジタル入力付きデジタルサラウンドアンプ(KAF-S500)やAVレシーバーと接続する場合は

本機の デジタル DIGITAL OUTPUT アウトプット 端子とAVレシーバーの デジタル DIGITAL INPUT インプット 端子を光ファイバーケーブルで接続します。

注意：
ディスクのPCMエリアにDTSデータが入っている場合があります。このディスクを再生するとAUDIO OUTPUT オーディオ 端子からは音声が正しく出ません。

S-VIDEO 端子接続について

映像信号をカラー(C)信号と輝度(Y)信号に分離してテレビに伝えるため、より鮮明な画像を得られます。S映像入力端子付きテレビにはS-VIDEOコードを接続して使うことをおすすめします。詳しくは、テレビの取扱説明書をよくお読みください。

D1/D2端子接続について

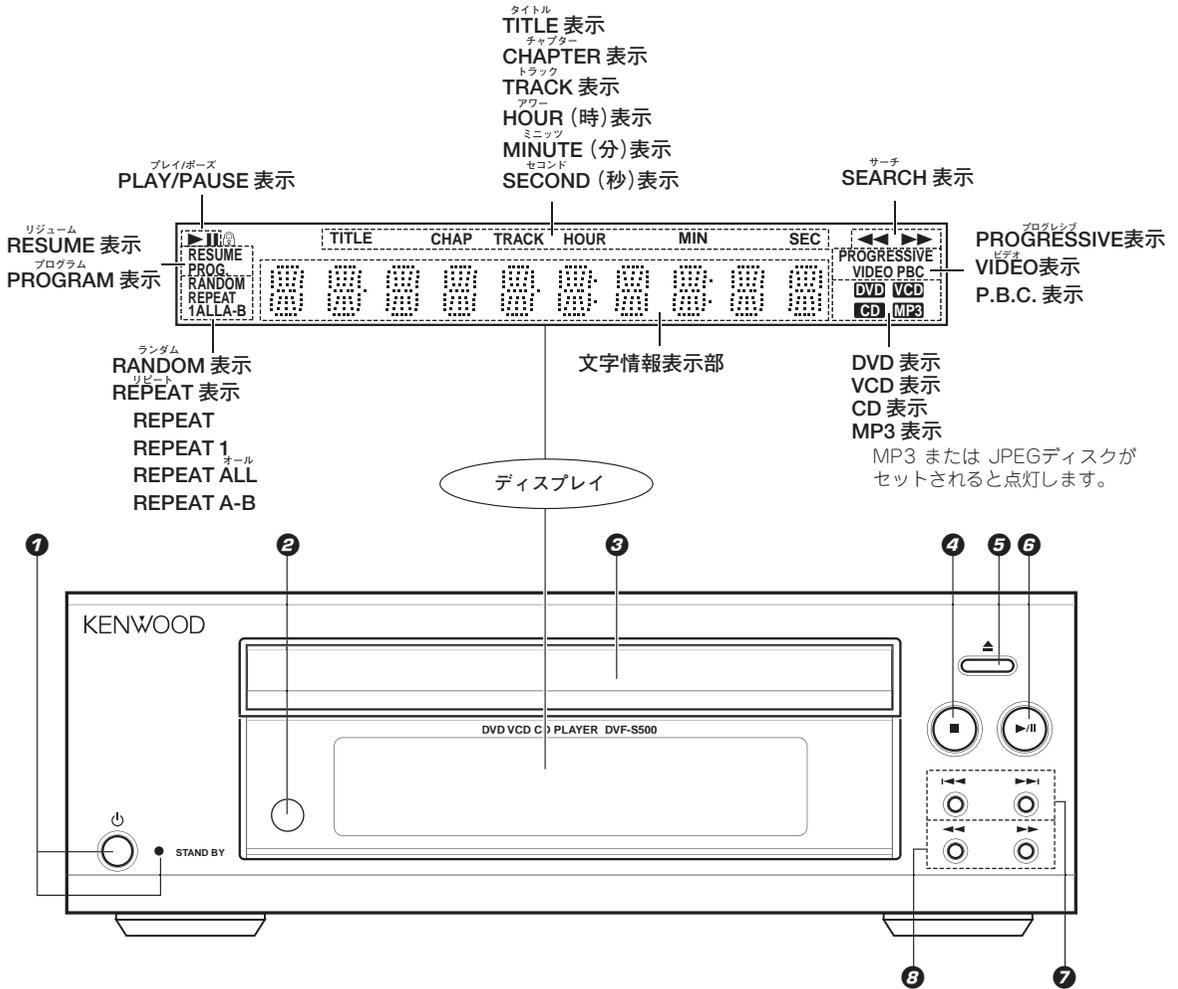
コンポーネントビデオ接続が、コード1本で手軽に行えます。D2端子接続ではBSデジタル対応テレビなどとの接続で、プログレッシブ(525p)映像を楽しめます。
→ 18

光ファイバーケーブルについて

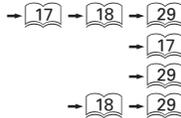
光ファイバーケーブルはまっすぐにカチッと音がするまで差し込んでください。
光ファイバーケーブルは絶対に折り曲げたり束ねたりしないでください。
市販の光ファイバーケーブルの中には本機と適合しないものもあります。接続できないときは購入店、またはケンウッドサービス窓口にご相談ください。

DTSに関する注意事項

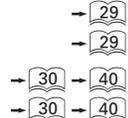
DTSでエンコードされたソフトウェアを再生すると、アナログステレオ出力から雑音が出ることがあります。DVDプレーヤーのアナログステレオ出力がアンプまたはレシーバーに接続されている場合にはご注意ください。DTSデジタルサラウンド再生をお楽しみになるには、DVDプレーヤーのデジタル出力に外部の5.1チャンネルDTSデジタルサラウンドデコーダーシステムを接続してください。



- 1 (POWER) キー
- 2 リモコン受光部
- 3 ディスクトレイ
- 4 (STOP) キー



- 5 (OPEN/CLOSE) キー
- 6 (PLAY/PAUSE) キー
- 7 (SKIP) キー
- 8 (FR/FF) キー



ディママー
DIMMER 機能

本機の表示部の明るさを切り換えることができます。

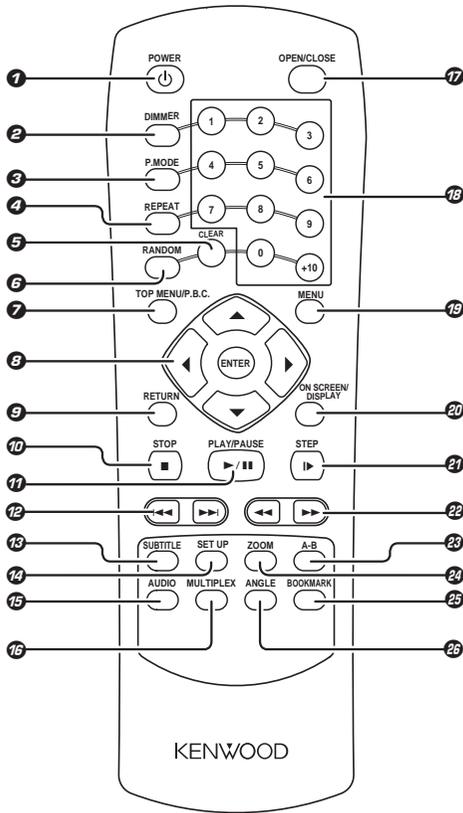


リモコンのDIMMERキーを押すごとに次のように切り換わりま
す。

- ① 明るい
- ② 少し暗い

スタンバイ状態について

本機のスタンバイインジケーターが点灯中は、メモリー保護のため、微弱な通電を行っています。これをスタンバイ状態といいます。このとき、リモコンで本機をオンできます。



- | | |
|--|---|
| ① POWER (⏻) キー → 17 → 29 | ⑬ サブタイトル
SUBTITLE キー → 32 |
| ② DIMMER (ディマー) キー → 16 | ⑭ セットアップ
SET UP キー → 20 ~ 27 |
| ③ プログラムモード
P.MODE キー → 36 | ⑮ オーディオ
AUDIO キー → 32 |
| ④ リピート
REPEAT キー → 33 → 34 → 36 → 40 | ⑯ マルチプレックス
MULTIPLEX キー → 32 |
| ⑤ クリア
CLEAR キー → 36 | ⑰ オープン/クローズ
OPEN/CLOSE キー → 29 |
| ⑥ ランダム
RANDOM キー → 33 → 42 | ⑱ デジタル
数字キー → 31 → 36 → 41 |
| ⑦ トップメニュー
TOP MENU/P.B.C キー → 29 | ⑳ オンスクリーン/ディスプレイ
ON SCREEN/DISPLAY キー → 31 |
| ⑧ カーソル 上(▲), 下(▼), 左(◀)
右(▶)キー → 20 ~ 27 → 41 | ㉑ ステップ
STEP(II) キー → 30 |
| ENTERキー → 20 ~ 27 → 31 | ㉒ サーチ
◀◀/▶▶ (サーチ)キー → 30 → 40 → 41 |
| ⑨ リターン
RETURN キー → 19 | ㉓ A-B キー → 34 |
| ⑩ ストップ
STOP(■) キー → 29 → 40 | ㉔ ズーム
ZOOM キー → 41 |
| ⑪ プレイ/ポーズ
PLAY/PAUSE(▶/II) キー → 29 | ㉕ ブックマーク
BOOKMARK キー → 35 |
| ⑫ スキップ
◀◀/▶▶ (スキップ) キー → 30 → 40 | ㉖ アンクル
ANGLE キー → 33 |

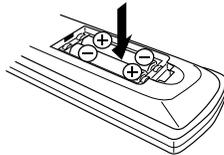
本体とリモコンで機能が同じでも、キーまたはつまみの名称が異なるものがあります。本取扱説明書の説明文中では、本体とリモコンで名称が異なる場合は、リモコンキーの名称をかっこ内に表記します。

電池の入れかた

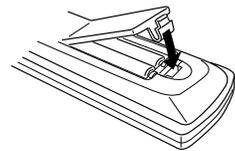
① 電池カバーをはずす



② 乾電池を入れる



③ 電池カバーをする



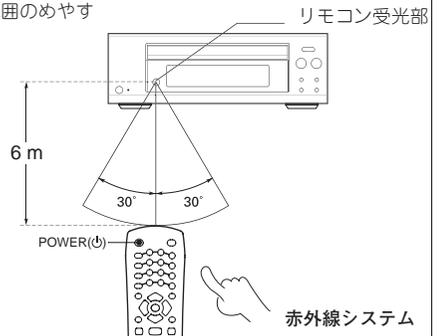
● 単4電池 2本を極性表示に合わせて入れる。

操作のしかた

本体の電源プラグをコンセントに差し込み、本体の ⏻ (POWER) キーを押すと、電源がオンになります。電源がオンになったら、操作したいキーを押します。電源をオフにするときは、再度 ⏻ (POWER) キーを押します。

● リモコンの各操作キーを押してから次のキーを押すときは、約1秒以上の間隔をあけて確実に押してください。

操作範囲のめやす



赤外線システム

1. 付属の乾電池は、動作チェック用のため、寿命が短いことがあります。ご了承ください。
2. 操作できる距離が短くなったら、2個とも新しい電池と交換してください。
3. リモコン受光部に直射日光や高周波点灯（インバーター方式等）の蛍光灯の光が当たると、正しく動作しないことがあります。このような場合、誤動作を避けるために設置場所を変えてください。

初期設定の準備

① POWERキーを押す

本体 リモコン

POWER

② テレビ画面のビデオフォーマットを変える必要があるときは変更する
(初期設定はNTSCです。→11)

本体 リモコン

+

ディスクをセットしないで、本体の **■ (STOP)** キーを押しながら、リモコンの **▶▶▶ (スキップ)** キーを押し続けます。操作をするごとに次のように切り換わります。

① **MULTI (NTSC/PAL 自動切換)**
② **NTSC (日本国内用)**
③ **PAL (ヨーロッパ用)**

セットアップメニュー画面

セットアップメニュー画面は次のような色々な設定ができます。ご使用の環境に合わせて切り換えてください。

言語の設定

- 音声言語
 - 音声出力の言語を選びます。(日本語*)
 - 英語
 - フランス語
 - スペイン語
 - 日本語**
 - その他
- 字幕言語
 - 字幕の言語を選びます。(日本語*)
 - 英語
 - フランス語
 - スペイン語
 - 日本語**
 - その他
 - オフ
- ディスクメニュー言語
 - DVDディスクに記録されているメニュー画面の言語を選択します。(日本語*)
 - 英語
 - フランス語
 - スペイン語
 - 日本語**
 - その他
- OSD言語
 - テレビ画面上に表示される言語を選択します。(日本語*)
 - 英語
 - 日本語**

ビデオの設定

- テレビアスペクト
 - 接続するテレビのタイプによって従来サイズかワイドかを切り換えます。
 - 4:3 (レターボックス)**
従来サイズのテレビに接続したときに選び、映画の縦横比のままの画面で見る場合に設定します。この場合画面の上下に黒い部分が残ります。
 - 4:3 (パンスカン)
従来サイズのテレビに接続したときに選び、テレビ画面いっぱいに映画を見たい場合に設定します。映画の左右が切れて映ります。この形式に適合しないディスクもあります。その場合は上下に黒い部分が残ります。
 - 16:9 (ワイド)
ワイドテレビに接続した場合に選択します。
- ピクチャーモード
 - 再生する素材の質に合わせて、画面の質を調整します。
 - オート**
自動で画質を調整します。
 - ハイレゾリューション
解像度を最大にします。
 - ノンフリッカー
画面にフリッカーノイズが出る場合に選ぶと、より良い画質になる場合があります。
- テレビモード
 - 接続したテレビの種類に合わせて、選択します。
 - (STOP)キーを10秒間押し続けると、プログレッシブが選択されていてもインターレースに切り換えることができます。**
 - インターレース**
標準ビデオ、Sビデオ、D1ビデオ接続のときに選択します。
 - プログレッシブ
D2ビデオ接続のときに選択します。

 で囲まれた表示が工場出荷の初期設定です。

準備編

オーディオの設定

- オーディオ出力
 - 出力端子の音声出力の方式を選びます。
 - 背面端子の「AUDIO OUT」から音を出す時は「アナログ」に、「DIGITAL OUTPUT」から音を出す時は「ビットストリーム」、又は「PCM」にセットアップ画面で切り換えてください。(同時に音を出すことはできません)
 - アナログ
 - AUDIO OUT端子とAVアンプ等を接続した時に選びます。
 - ビットストリーム**
 - ドルビーデジタルまたはDTSデコーダー内蔵のAVアンプと接続した時に選びます。
 - ドルビーデジタルまたはDTSで記録されたDVDを再生したときは、ビットストリーム信号を出力します。リニアPCMで記録されたディスクを再生したときはリニアPCM信号を出力します。
 - PCM
 - PCM出力するときに選びます。ドルビーデジタルで記録されたDVDを再生したときは、2チャンネルPCMに変換して出力されます。DTSで記録されたDVDを再生したときは、ビットストリーム信号を出力します。
- ダウンミックス
 - LT/RT設定**
 - DVDのマルチチャンネル出力をL、Rの2チャンネルにダウンミックスした信号を出力します。
 - LO/RO設定**
 - ステレオ信号を出力します。
- ダイナミックレンジ
 - ドルビーデジタル音声のDVDを再生するとき、最大音量と最小音量の幅を圧縮します。夜中に静かに聞くとときなどにオンすると、小さな音でもよりクリアに聞くことができます。
 - オン**
 - オフ**

視聴制限の設定

- パスワード
 - 視聴制限レベルの設定や、変更するときのパスワードを設定します。
 - 現在のパスワード
 - 新しいパスワード
 - パスワードの確認
- 視聴制限
 - 未成年に見せたくないDVDソフトなどの再生を制限する機能で、レベルを設定します。DVDソフト自身に、制限するレベルの設定がされていない場合は再生の制限はできません。(**8**)
 - 1** レベル1 : 子供用が再生できます。(一般用/成人用は禁止されます。)
 - 2**
 - 3**
 - 4** レベル2～7 : 一般視聴者用/子供用が再生できます。(成人用は禁止されます。)
 - 5**
 - 6**
 - 7**
 - 8** レベル8 : すべてのDVDが再生できます。

その他の設定

- スクリーンセーバー
 - スクリーンセーバーのオン/オフを切り換えます。(**オン**)
 - スクリーンセーバーオンの場合、画像が静止状態のまま約5分経過するとスクリーンセーバー機能が働いて、KENWOODのロゴマークが移動する表示になります。
 - オン**
 - オフ
- アングル
 - この機能をオンにしておくとDVD再生時にマルチアングルシーンになったときアングルマーク () が表示されます。(**オン**)
 - オン**
 - オフ
- 初期設定
 - パスワードと視聴制限レベル以外の項目がすべて工場出荷状態になります。
 - リセット

* マークの付いた言語はディスクによって指定された言語が優先されます。

リターン
RETURNキーの使いかた

リターン
RETURNキーを押すとメインページに戻ります。



DVD 音声言語を選ぶ -18

- ① 停止中にリモコンのSET UPキーを押す。



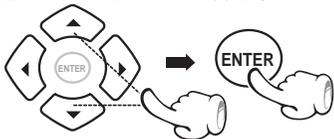
- ② リモコンのカーソル上下(▲/▼)キーを押して、言語の設定を選び、ENTERキーを押して次のメニューを表示させる。



- ③ リモコンのカーソル上下(▲/▼)キーを押して、音声言語を選び、カーソル右(▶)キーを押す。



- ④ リモコンのカーソル上下(▲/▼)キーを押して、お好みの言語を選び、ENTERキーを押す。

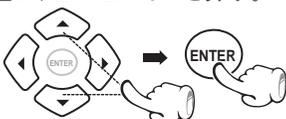


「その他」の言語を選ぶには

- ① その他を選んでENTERキーを押す。
 - ② リモコンの数字キーを使って、4桁の言語コードを入力する。
 - ③ ENTERキーを押す。
- (DVD メニュー言語コード表 -28)

- ⑤ リモコンのカーソル左(◀)キーを押して、前のメニュー画面に戻る。

- ⑥ リモコンのカーソル上下(▲/▼)キーを押して、メインページを選び、ENTERキーを押す。



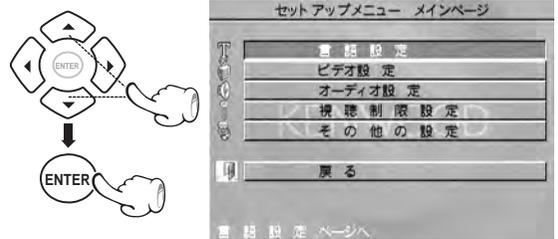
- ⑦ リモコンのカーソル上下(▲/▼)キーを押して戻るを選び、ENTERキーを押す。

DVD 字幕言語を選ぶ -18

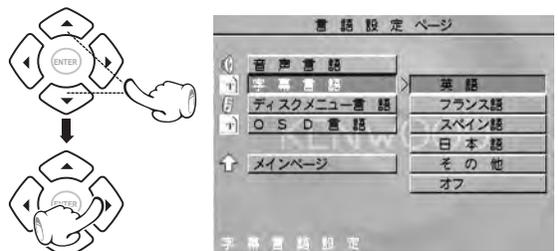
- ① 停止中にリモコンのSET UPキーを押す。



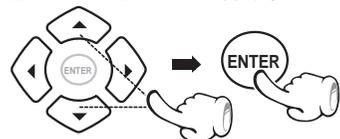
- ② リモコンのカーソル上下(▲/▼)キーを押して、言語の設定を選び、ENTERキーを押して次のメニューを表示させる。



- ③ リモコンのカーソル上下(▲/▼)キーを押して、字幕言語を選び、カーソル右(▶)キーを押す。



- ④ リモコンのカーソル上下(▲/▼)キーを押して、お好みの言語を選び、ENTERキーを押す。

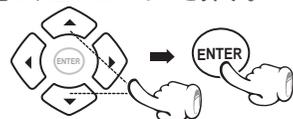


「その他」の言語を選ぶには

- ① その他を選んでENTERキーを押す。
 - ② リモコンの数字キーを使って、4桁の言語コードを入力する。
 - ③ ENTERキーを押す。
- (DVD メニュー言語コード表 -28)

- ⑤ リモコンのカーソル左(◀)キーを押して、前のメニュー画面に戻る。

- ⑥ リモコンのカーソル上下(▲/▼)キーを押して、メインページを選び、ENTERキーを押す。



- ⑦ リモコンのカーソル上下(▲/▼)キーを押して戻るを選び、ENTERキーを押す。

DVD ディスクメニュー言語を選ぶ - 18

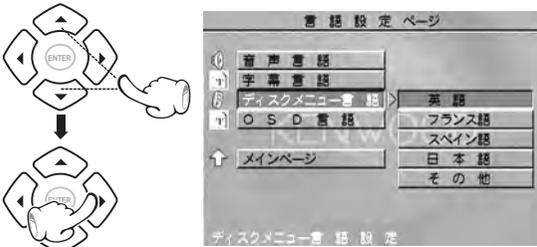
① 停止中にリモコンのSET UPキーを押す。



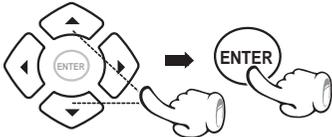
② リモコンのカーソル上下(▲/▼)キーを押して、言語の設定を選び、ENTERキーを押して次のメニューを表示させる。



③ リモコンのカーソル上下(▲/▼)キーを押して、ディスクメニュー言語を選び、カーソル右(▶)キーを押す。



④ リモコンのカーソル上下(▲/▼)キーを押して、お好みの言語を選び、ENTERキーを押す。

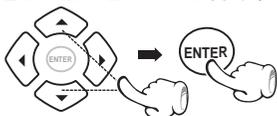


「その他」の言語を選ぶには

- ① 他を選んでENTERキーを押す。
- ② リモコンの数字キーを使って、4桁の言語コードを入力する。
- ③ ENTERキーを押す。
(DVDメニュー言語コード表 - 28)

⑤ リモコンのカーソル左(◀)キーを押して、前のメニュー画面に戻る。

⑥ リモコンのカーソル上下(▲/▼)キーを押して、メインページを選び、ENTERキーを押す。



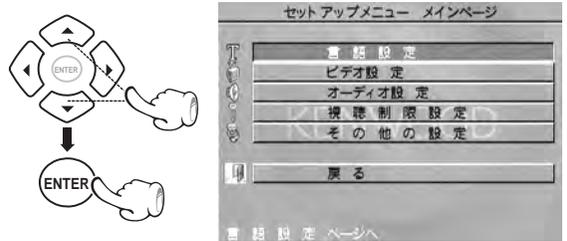
⑦ リモコンのカーソル上下(▲/▼)キーを押して戻るを選び、ENTERキーを押す。

DVD VCD CD OSD言語を選ぶ - 18

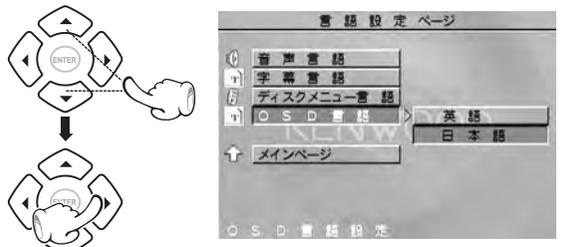
① 停止中にリモコンのSET UPキーを押す。



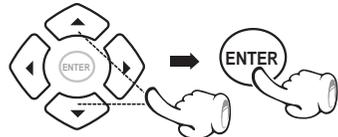
② リモコンのカーソル上下(▲/▼)キーを押して、言語の設定を選び、ENTERキーを押して次のメニューを表示させる。



③ リモコンのカーソル上下(▲/▼)キーを押して、OSD言語を選び、カーソル右(▶)キーを押す。



④ リモコンのカーソル上下(▲/▼)キーを押して、お好みの言語を選び、ENTERキーを押す。



⑤ リモコンのカーソル左(◀)キーを押して、前のメニュー画面に戻る。

⑥ リモコンのカーソル上下(▲/▼)キーを押して、メインページを選び、ENTERキーを押す。



⑦ リモコンのカーソル上下(▲/▼)キーを押して戻るを選び、ENTERキーを押す。

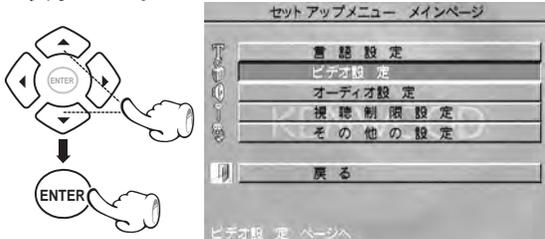
DVD VCD テレビ画面を選ぶ

(テレビアスペクト) - 18

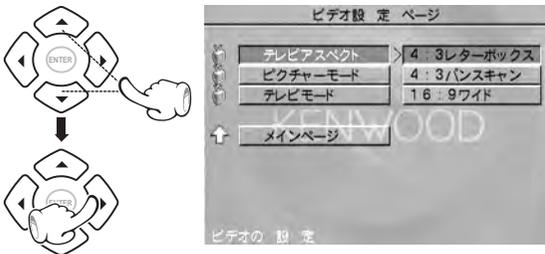
- ① 停止中にリモコンのSET UPキーを押す。



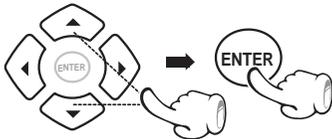
- ② リモコンのカーソル上下 (▲/▼) キーを押して、ビデオの設定を選び、ENTER キーを押して次のメニューを表示させる。



- ③ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) キーを押して、テレビアスペクトを選び、カーソル右 (▶) キーを押す。

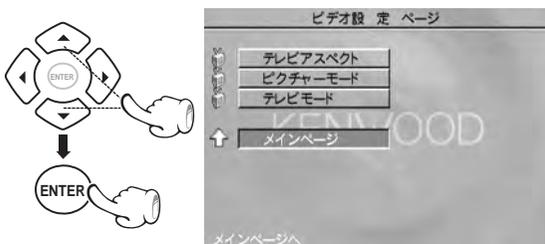


- ④ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) キーを押して、テレビ画面のタイプを選び、ENTER キーを押す。



- ⑤ リモコンのカーソル左 (◀) キーを押して、前のメニュー画面に戻る。

- ⑥ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) キーを押して、メインページを選び、ENTER キーを押す。



- ⑦ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) キーを押して戻るを選び、ENTER キーを押す。

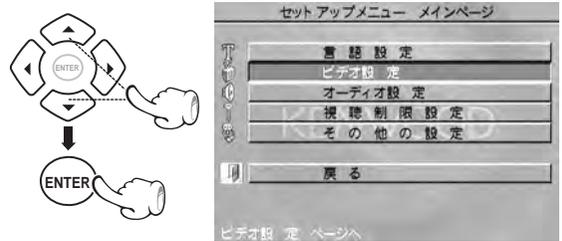
DVD VCD ピクチャーモードを選ぶ

- 18

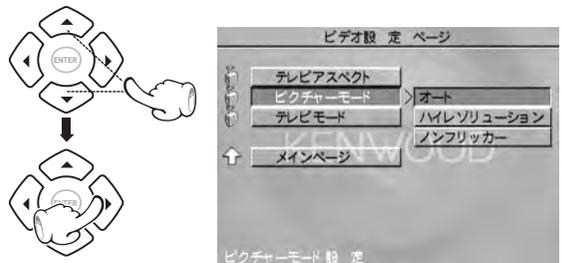
- ① 停止中にリモコンのSET UPキーを押す。



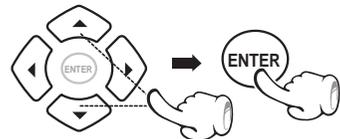
- ② リモコンのカーソル上下 (▲/▼) キーを押して、ビデオの設定を選び、ENTER キーを押して次のメニューを表示させる。



- ③ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) キーを押して、ピクチャーモードを選び、カーソル右 (▶) キーを押す。

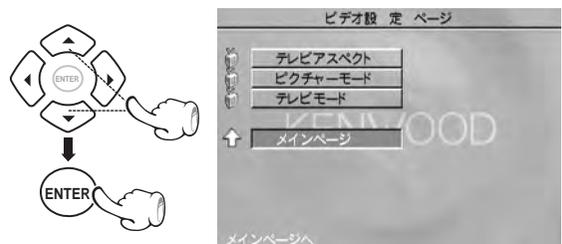


- ④ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) キーを押して、お好みのモードを選び、ENTER キーを押す。



- ⑤ リモコンのカーソル左 (◀) キーを押して、前のメニュー画面に戻る。

- ⑥ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) キーを押して、メインページを選び、ENTER キーを押す。



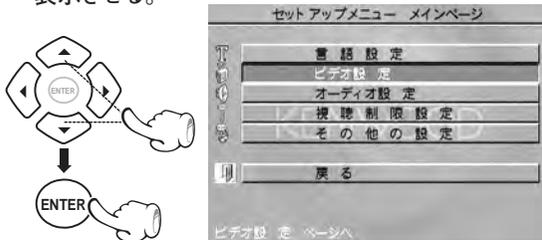
- ⑦ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) キーを押して戻るを選び、ENTER キーを押す。

DVD VCD テレビモードを選ぶ - 18

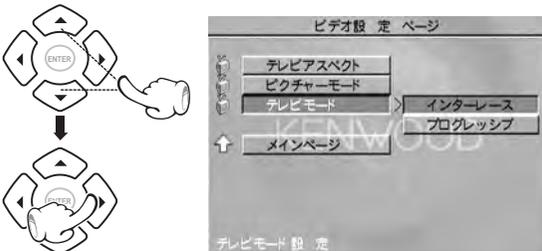
- ① 停止中にリモコンのSET UPキーを押す。



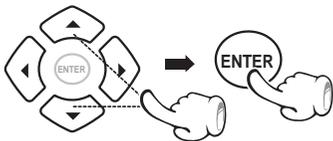
- ② リモコンのカーソル上下 (▲/▼) キーを押して、ビデオの設定を選び、ENTER キーを押して次のメニューを表示させる。



- ③ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) キーを押して、テレビモードを選び、カーソル右 (▶) キーを押す。



- ④ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) キーを押して、お好みのテレビモードを選び、ENTER キーを押す。



- ⑤ リモコンのカーソル左 (◀) キーを押して、前のメニュー画面に戻る。

- ⑥ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) キーを押して、メインページを選び、ENTER キーを押す。



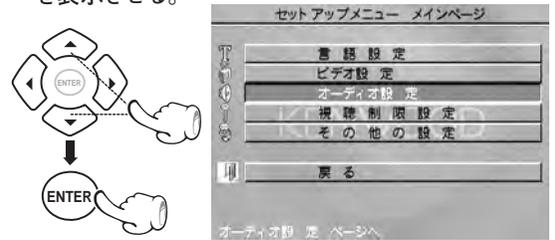
- ⑦ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) キーを押して戻るを選び、ENTER キーを押す。

DVD オーディオ出力を選ぶ - 19

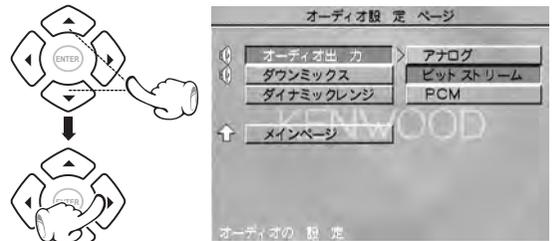
- ① 停止中にリモコンのSET UPキーを押す。



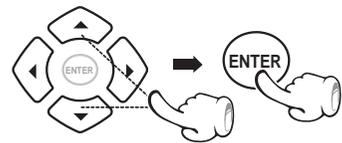
- ② リモコンのカーソル上下 (▲/▼) キーを押して、オーディオの設定を選び、ENTER キーを押して次のメニューを表示させる。



- ③ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) キーを押して、オーディオ出力を選び、カーソル右 (▶) キーを押す。

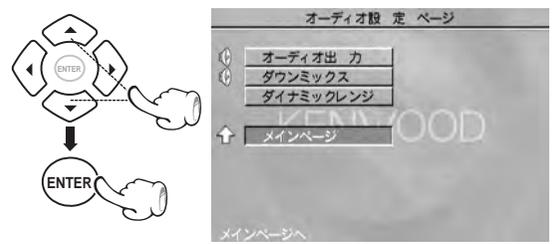


- ④ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) キーを押して、お好みの出力モードを選び、ENTER キーを押す。



- ⑤ リモコンのカーソル左 (◀) キーを押して、前のメニュー画面に戻る。

- ⑥ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) キーを押して、メインページを選び、ENTER キーを押す。



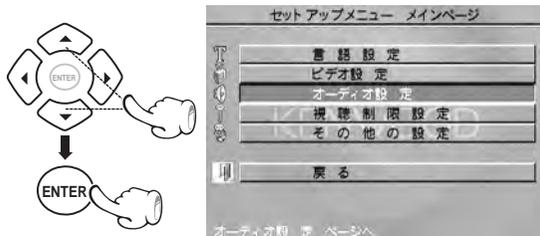
- ⑦ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) キーを押して戻るを選び、ENTER キーを押す。

DVD ダウンミックスモードを選ぶ 19

① 停止中にリモコンのSET UPキーを押す。



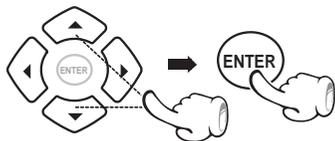
② リモコンのカーソル上下(▲/▼)キーを押して、オーディオの設定を選び、ENTERキーを押して次のメニューを表示させる。



③ リモコンのカーソル上下(▲/▼)キーを押して、ダウンミックスを選び、カーソル右(▶)キーを押す。

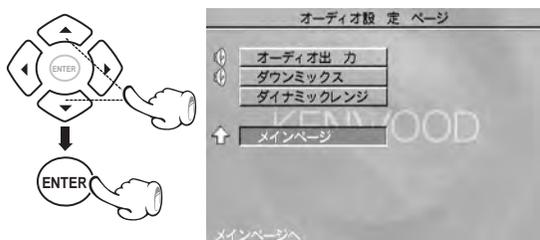


④ リモコンのカーソル上下(▲/▼)キーを押して、お好みの出力モードを選び、ENTERキーを押す。



⑤ リモコンのカーソル左(◀)キーを押して、前のメニュー画面に戻る。

⑥ リモコンのカーソル上下(▲/▼)キーを押して、メインページを選び、ENTERキーを押す。



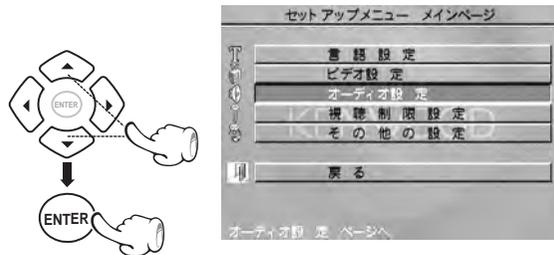
⑦ リモコンのカーソル上下(▲/▼)キーを押して戻るを選び、ENTERキーを押す。

DVD ダイナミックレンジを選ぶ 19

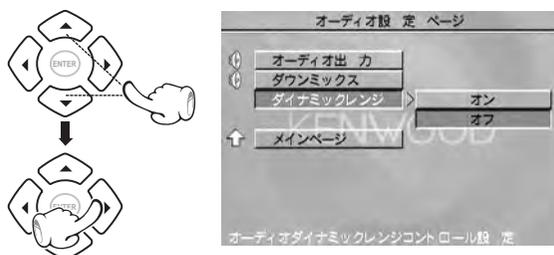
① 停止中にリモコンのSET UPキーを押す。



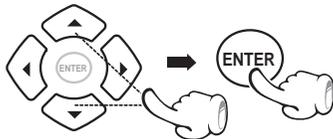
② リモコンのカーソル上下(▲/▼)キーを押して、オーディオの設定を選び、ENTERキーを押して次のメニューを表示させる。



③ リモコンのカーソル上下(▲/▼)キーを押して、ダイナミックレンジを選び、カーソル右(▶)キーを押す。



④ リモコンのカーソル上下(▲/▼)キーを押して、オンまたはオフを選び、ENTERキーを押す。



⑤ リモコンのカーソル左(◀)キーを押して、前のメニュー画面に戻る。

⑥ リモコンのカーソル上下(▲/▼)キーを押して、メインページを選び、ENTERキーを押す。



⑦ リモコンのカーソル上下(▲/▼)キーを押して戻るを選び、ENTERキーを押す。

DVD パスワードの変更 -19-

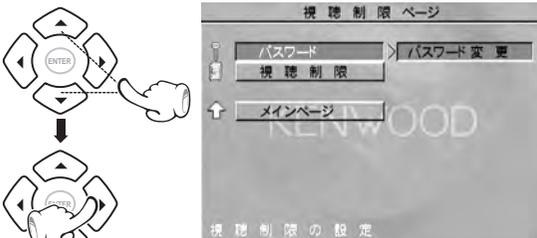
- ① 停止中にリモコンのSET UPキーを押す。



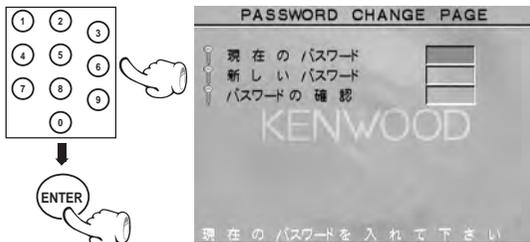
- ② リモコンのカーソル上下(▲/▼)キーを押して、視聴制限の設定を選び、ENTERキーを押して次のメニューを表示させる。



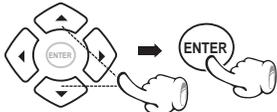
- ③ リモコンのカーソル上下(▲/▼)キーを押して、パスワードを選び、カーソル右(▶)キーを押す。



- ④ ENTERキーを押して、パスワード変更を選ぶ。
 ⑤ 従来のパスワードを入力し、つぎに新しいパスワードを入力して、確認のため、もう一度新しいパスワードを入力する。その後ENTERキーを押す。(工場出荷時のパスワードは"0000"です。)



- ⑥ リモコンのカーソル左(◀)キーを押して、前のメニュー画面に戻る。
 ⑦ リモコンのカーソル上下(▲/▼)キーを押して、メインページを選び、ENTERキーを押す。



- ⑧ リモコンのカーソル上下(▲/▼)キーを押して戻るを選び、ENTERキーを押す。

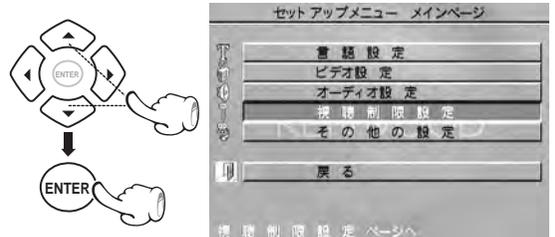
DVD 視聴制限レベルの選択 -19-

未成年に見せたくないDVDソフトの再生を制限するレベルの設定をします。

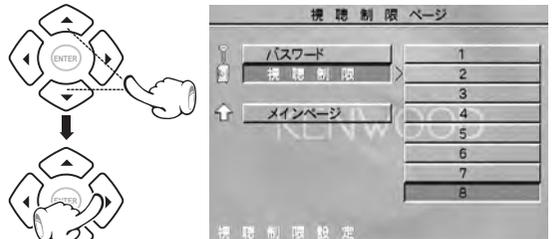
- ① 停止中にリモコンのSET UPキーを押す。



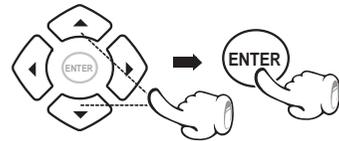
- ② リモコンのカーソル上下(▲/▼)キーを押して、視聴制限の設定を選び、ENTERキーを押して次のメニューを表示させる。



- ③ リモコンのカーソル上下(▲/▼)キーを押して、視聴制限を選び、カーソル右(▶)キーを押す。

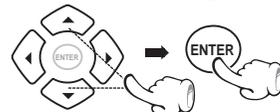


- ④ リモコンのカーソル上下(▲/▼)キーを押して、お好みのレベルを選び、ENTERキーを押す。



- ⑤ パスワードを入力し、ENTERキーを押す。
 工場出荷時(初期設定)のパスワードは"0000"です。パスワードを替えるときは本ページの「パスワードの変更」の項目を参照してください。

- ⑥ リモコンのカーソル左(◀)キーを押して、前のメニュー画面に戻る。
 ⑦ リモコンのカーソル上下(▲/▼)キーを押して、メインページを選び、ENTERキーを押す。



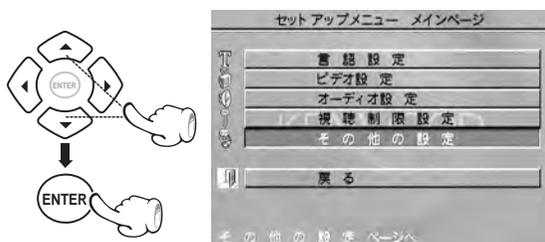
- ⑧ リモコンのカーソル上下(▲/▼)キーを押して戻るを選び、ENTERキーを押す。

DVD VCD CD スクリーンセーバーON またはOFFを選ぶ -19-

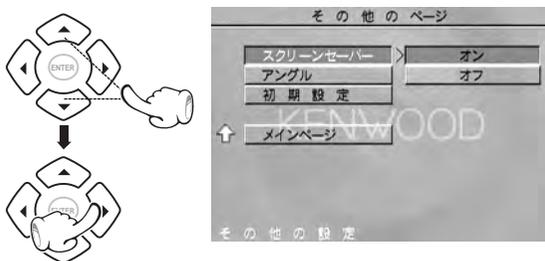
- ① 停止中にリモコンのSET UPキーを押す。



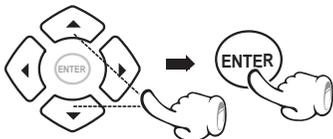
- ② リモコンのカーソル上下(▲/▼)キーを押して、その他の設定を選び、ENTERキーを押して次のメニューを表示させる。



- ③ リモコンのカーソル上下(▲/▼)キーを押して、スクリーンセーバーを選び、カーソル右(▶)キーを押す。



- ④ リモコンのカーソル上下(▲/▼)キーを押して、ONまたはOFFを選び、ENTERキーを押す。



- ⑤ リモコンのカーソル左(◀)キーを押して、前のメニュー画面に戻る。

- ⑥ リモコンのカーソル上下(▲/▼)キーを押して、メインページを選び、ENTERキーを押す。



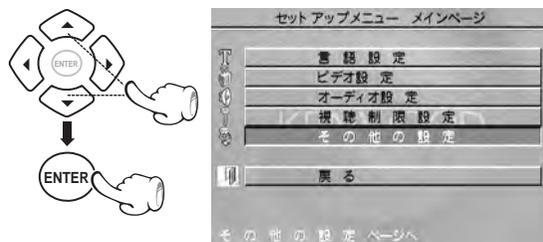
- ⑦ リモコンのカーソル上下(▲/▼)キーを押して戻るを選び、ENTERキーを押す。

DVD アングルのON/OFFを選ぶ -19-

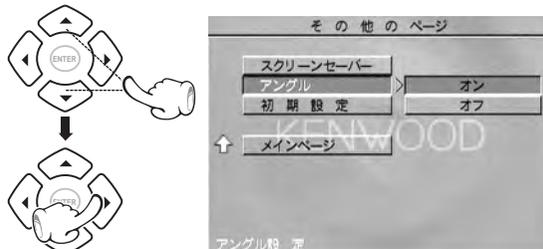
- ① 停止中にリモコンのSET UPキーを押す。



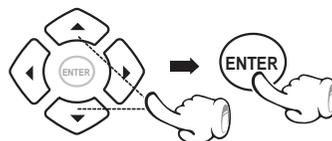
- ② リモコンのカーソル上下(▲/▼)キーを押して、その他の設定を選び、ENTERキーを押して次のメニューを表示させる。



- ③ リモコンのカーソル上下(▲/▼)キーを押して、アングルを選び、カーソル右(▶)キーを押す。



- ④ リモコンのカーソル上下(▲/▼)キーを押して、オンまたはオフを選び、ENTERキーを押す。



- ⑤ リモコンのカーソル左(◀)キーを押して、前のメニュー画面に戻る。

- ⑥ リモコンのカーソル上下(▲/▼)キーを押して、メインページを選び、ENTERキーを押す。



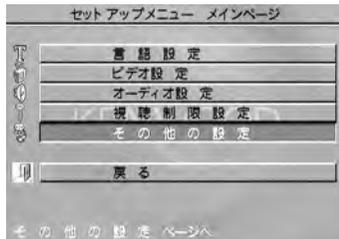
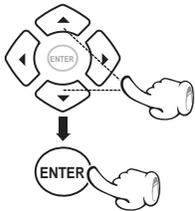
- ⑦ リモコンのカーソル上下(▲/▼)キーを押して戻るを選び、ENTERキーを押す。

DVD VCD CD 工場出荷時の状態に戻す 19

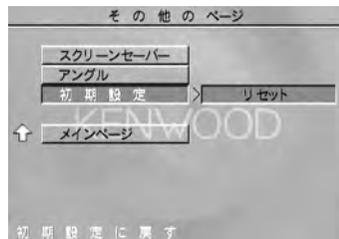
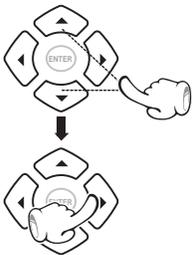
- ① 停止中にリモコンの^{セットアップ}SET UPキーを押す。



- ② リモコンのカーソル上下(▲/▼)キーを押して、
その他の設定を選び、ENTERキーを押して次のメニューを表示させる。



- ③ リモコンのカーソル上下(▲/▼)キーを押して、初期設定を選び、カーソル右(▶)キーを押す。

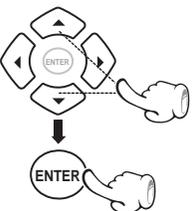


- ④ ^{エンター}ENTERキーを押して、リセットを選ぶ。



- ⑤ リモコンのカーソル左(◀)キーを押して、前のメニュー画面に戻る。

- ⑥ リモコンのカーソル上下(▲/▼)キーを押して、メインページを選び、^{エンター}ENTERキーを押す。



- ⑦ リモコンのカーソル上下(▲/▼)キーを押して戻るを選び、^{エンター}ENTERキーを押す。

DVDメニュー言語コード表

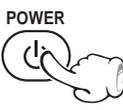
コード番号	言語
1027	アフアル
1028	アフハジア
1032	アフリカーン
1039	アムハラ
1044	アラビア
1045	アッサム
1051	アイラマ
1052	アゼルバイジャン
1053	パシキール
1057	ベロルシア
1059	ブルガリア
1060	ビハール
1061	ビスラマ
1066	ベンガル(バングラ)
1067	チベット
1070	ブルターニュ
1079	カタロニア
1093	コルシカ
1097	チェコ
1103	ウェールズ
1105	デンマーク
1109	ドイツ
1130	ブータン
1142	ギリシャ
1144	英語
1145	エスペラント
1149	スペイン
1150	エストニア
1151	バスク
1157	ペルシャ
1165	フィンランド
1166	フィジー
1171	フェロー
1174	フランス
1181	フリジア
1183	アイルランド
1186	スコットランド
1194	ガリチア
1196	グアラニー
1203	グジャラト
1209	ハウサ
1217	ヒンディー
1226	クロアチア
1229	ハンガリー
1233	アルメニア
1235	インテルリングア

コード番号	言語
1239	インテルリング
1245	イヌピアック
1248	インドネシア
1253	アイスランド
1254	イタリア
1257	ヘブライ
1261	日本語
1269	イディッシュ
1283	ジャワ
1287	グルジア
1297	カザフ
1298	グリーンランド
1299	カンボジア
1300	カナダ
1301	韓国語
1305	カシミール
1307	クルド
1311	キルギス
1313	ラテン
1326	リンガラ
1327	ラオ
1332	リトアニア
1334	ラトビア(レット)
1345	マダガスカル
1347	マオリ
1349	マケドニア
1350	マラヤーラム
1352	モンゴル
1353	モルダビア
1356	マラッタ
1357	マレー
1358	マルタ
1363	ビルマ
1365	ナウル
1369	ネパール
1376	オランダ
1379	ノルウェー
1393	オクシタン
1403	オロモ
1408	オーリャ
1417	パンジャブ
1428	ポーランド
1435	パシュト
1436	ポルトガル
1463	ケチュア
1481	レトロマンス

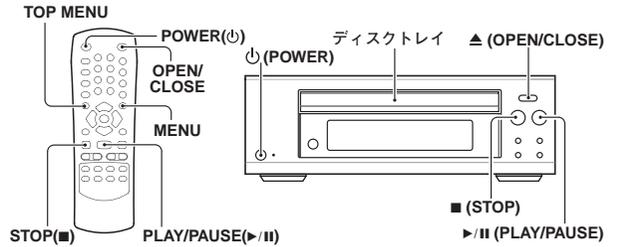
コード番号	言語
1482	キルンディ
1483	ルーマニア
1489	ロシア
1491	キニヤルワンダ
1495	サンスクリット
1498	シンド
1501	サングロ
1502	セルボクロアチア
1503	シンハラ
1505	スロバキア
1506	スロベニア
1507	サモア
1508	ショナ
1509	ソマリ
1511	アルバニア
1512	セルビア
1513	シスワティ
1514	セント
1515	スンダ
1516	スウェーデン
1517	スワヒリ
1521	タミル
1525	テルグ
1527	タジク
1528	タイ
1530	ティグリニア
1531	トルクメン
1532	タガログ
1534	セツワナ
1535	トンガ
1538	トルコ
1539	ツソング
1540	タタール
1543	トウイ
1557	ウクライナ
1564	ウルドゥー
1572	ウズベグ
1581	ベトナム
1587	ヴォラビュック
1613	ウォロフ
1632	コーサ
1665	ヨルバ
1684	中国語
1697	ズールー

基本的な使いかた

準備

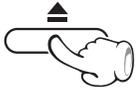
本体  **リモコン** 

- 冫 (POWER) キーを押します。
- 電源を入れた後スタンバイ表示が消灯します。

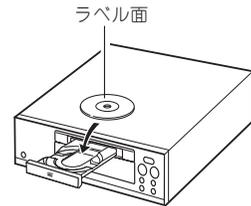


1 ディスクを入れる

1 トレイを開ける

本体  **リモコン** 

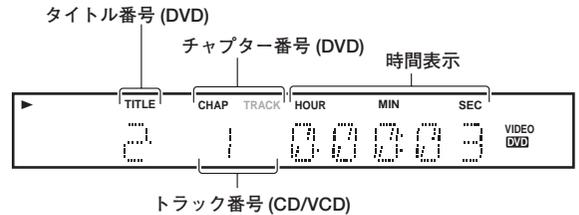
2 ディスクを入れる



2 再生を始める

本体  または  **リモコン** 

- トレイが開いているときに ▶/|| (PLAY/PAUSE) キーまたは ▲ (OPEN/CLOSE) キーを押すと自動的にトレイが閉まり再生が開始されます。



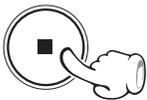
 **メニュー画面が表示されたときは**
 対話型のDVDを再生するとメニュー画面が表示されます。この場合、リモコンのカーソルキーでメニューを選び、ENTERキーを押して再生をスタートさせます。

- ▶/|| (PLAY/PAUSE) キーを押すごとに再生、一時停止が切り替わります。

メニュー画面がDVDに記録されている場合、TOP MENU/P.B.C. キーまたは MENU キーを押すとメニュー画面が表示されます。メニュー画面ではカーソルキーでメニューを選択することができます。

TOP MENU/P.B.C.  または **MENU** 

再生を止めるには

本体  **リモコン** 

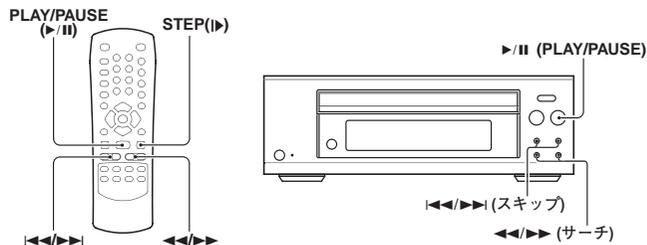
レジューム再生機能 (DVDのみ)

再生中に ■ (STOP) キーを1回押すと再生を停止し、再生を再開したときは、停止した位置から再生が始まります。この機能をレジューム機能といいます。

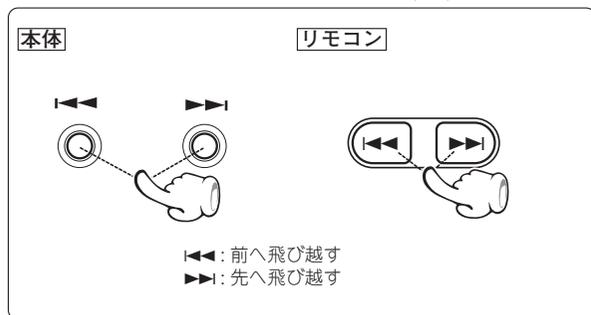
レジュームに ■ (STOP) キーをもう一度押すとレジュームが解除されます。

ディスクの色々な再生

- DVD、VCDの再生でスキップ、サーチ、ステップやスロー再生中は音声が出ません。
- 映画などの始まりの画面などではスキップなどの再生機能は働きません。



CD DVD VCD チャプターや、トラック(曲)を飛び越す

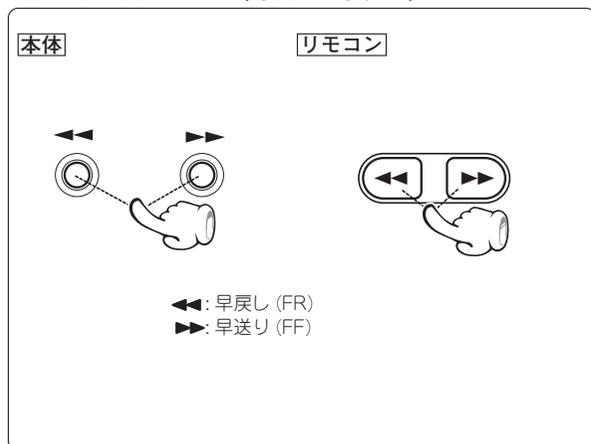


- キーを押すごとにチャプターまたはトラック (曲) を飛び越して、選んだチャプターまたはトラック (曲) のはじめから再生を開始します。
- 再生中に ◀◀ キーを1回押すと、そのチャプターまたはトラック (曲) のはじめから再生を開始します。



- ディスクがチャプターに分けられていない場合はチャプターの機能は働きません。

CD DVD VCD サーチ(早送り, 早戻し)



- 再生中に ▶▶ または ◀◀ キーを押す。
- 押すごとにサーチスピードが切り換わります。

(DVD再生時)

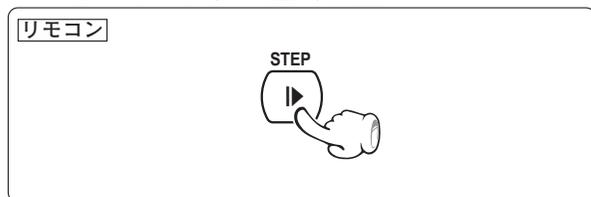
- ① FF 2 X (▶▶ キー) または FR 2 X (◀◀ キー)
- ② FF 4 X (▶▶ キー) または FR 4 X (◀◀ キー)
- ③ FF 8 X (▶▶ キー) または FR 8 X (◀◀ キー)
- ④ FF 16 X (▶▶ キー) または FR 16 X (◀◀ キー)
- ⑤ FF 32 X (▶▶ キー) または FR 32 X (◀◀ キー)
- ⑥ FF 64 X (▶▶ キー) または FR 64 X (◀◀ キー)

(CD, VCD再生時)

- ① FF 2 X (▶▶ キー) または FR 2 X (◀◀ キー)
- ② FF 4 X (▶▶ キー) または FR 4 X (◀◀ キー)
- ③ FF 6 X (▶▶ キー) または FR 6 X (◀◀ キー)

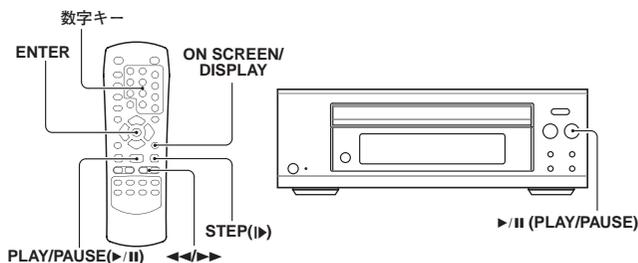
- 通常再生に戻るには ▶/|| (PLAY/PAUSE) キーを押します。
- DTS-CDの場合、サーチはできません。

DVD VCD ステップ(コマ送り)再生



- 再生中に^{ステップ}STEP (▶) キーを押す。
- キーを押すごとに1コマずつ再生します。

- 通常再生に戻るには ▶/|| (PLAY/PAUSE) キーを押します。



DVD VCD スローモーション再生

リモコン

◀◀: スロー戻し (SR)
▶▶: スロー送り (SF)

- 再生中にSTEP(▶)キーを押し、◀◀または▶▶キーを押す。
- 押すごとにスローモーションのスピードが変わります。

(DVD再生時)

- SF 1/2 (▶▶ キー) または SR 1/2 (◀◀ キー)
- SF 1/4 (▶▶ キー) または SR 1/4 (◀◀ キー)
- SF 1/8 (▶▶ キー) または SR 1/8 (◀◀ キー)
- PLAY

(VCD再生時)

(スロー戻しはできません)

- SF 1/2 (▶▶ キー)
- SF 1/4 (▶▶ キー)
- SF 1/6 (▶▶ キー)
- PLAY

- 通常再生に戻るには ▶/⏸ (PLAY/PAUSE) キーを押します。

CD DVD VCD 好きなDVDのタイトルまたはCDのトラック(曲)から再生する

DVDビデオではディスクの内容が複数のタイトルに分けられており、タイトルのなかをさらに複数のチャプターに分けられています。(映画など、DVDの内容によっては複数のタイトルや、チャプターに分けられていない場合もあります。)

リモコン

- 好みのトラック(CD/VCD)やタイトル(DVD)から再生する。数字キーで数字を入力する。

(例) トラック (タイトル) 23を選ぶとき: **+10 +10 3**

- VCDでP.B.C. オンモードのときは数字キーで選べない場合があります。→37

DVD CD VCD オンスクリーン表示

テレビ画面にDVDのチャプターや、CD/VCDのトラック(曲)の経過時間や、残り時間などの表示をすることができます。

リモコンのON SCREEN/DISPLAYキーを押します。押すごとに表示が切り換わります。

DVD再生時

- タイトル番号と、チャプター番号表示
(例) TITLE 01/06 CHAPTER 001/035
- 希望する時間から再生する
(例) 希望する時間を入力しENTERキーを押す。
- "TITLE PLAYING": タイトルの経過時間
- "TITLE REMAIN": タイトルの残り時間表示
- "CHAPTER PLAYING": チャプターの経過時間
- "CHAPTER REMAIN": チャプターの残り時間
- "オフ"

CD/VCD 再生時

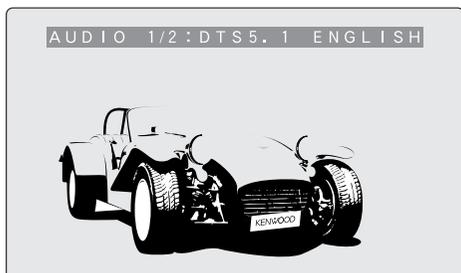
- "GO TO"
希望する時間から再生する(_ 分 _ 秒)
(例) GO TO 02:54
- "TRACK TIME": 再生中のトラックの経過時間
- "TRACK REMAIN": 再生中のトラックの残り時間
- "TOTAL REMAIN": 再生中のディスクの残り時間
- "オフ"

* 印の項目はVCDでP.B.C.オンモードのときは表示されません。

DVD 音声言語を選ぶ

ディスクに複数の言語が記録されているときはリモコンのオーディオAUDIOキーを押すと、ディスクの言語を切り換えることができます。

再生中にリモコンのオーディオAUDIOキーを押す。



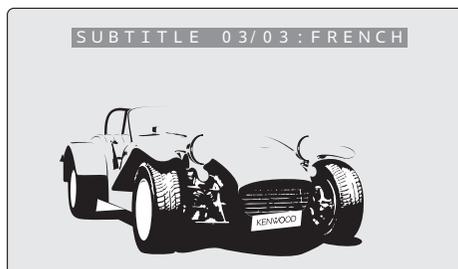
オーディオAUDIOキーを押すごとに言語が切り換わります。

- 約2秒操作しないと画面上の表示は消えます。

DVD 字幕言語を選ぶ

DVDの再生しているとき、字幕の言語をを切り換えることができます。

再生中にリモコンのサブタイトルSUBTITLEキーを押す。



サブタイトルSUBTITLEキーを押すごとに字幕が切り換わります。

- 約2秒操作しないと画面上の表示は消えます。

-  1. ディスクに複数の言語が記録されていない場合は切り換えられません。
2. 初期設定で設定した言語に関わらず、オーディオAUDIOキーで切り換えるとそのディスクの再生中は一時的に選んだ言語が優先されます。

-  1. ディスクに複数の言語が記録されていない場合は切り換えられません。
2. ディスクによっては字幕言語のメニューが表示されるものもあります。

VCD 音声出力のチャンネルを切り換える

VCDの音声出力を左チャンネルだけ、右チャンネルだけ、またはステレオ出力に切り換えることができます。(音声多重カラオケなどに便利です。)

VCDの再生中にリモコンのMULTIPLEXキーを押す。



押すごとに次のように切り換わります。

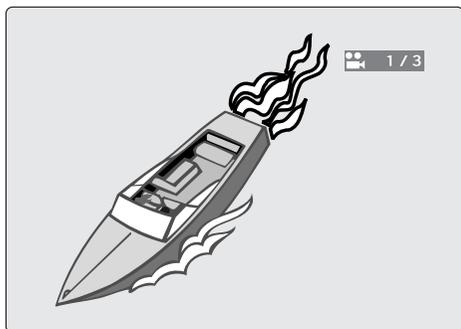
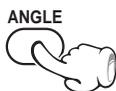
- ① レフト L (左)
- ② ライト R (右)
- ③ ステレオ STEREO

DVD カメラアングルを選ぶ

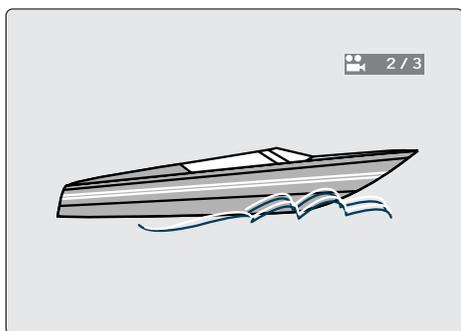
ディスクによってはマルチアングル機能に対応したものが有ります。1つのアングルしか記録されていないディスクではこの機能は働きません。

- 再生中にリモコンのANGLEキーを押す。

複数のアングルで記録されたシーンではマルチアングルのマークが表示されます。



- ANGLEキーを押して、カメラアングルを選ぶ。



- セットアップメニューでANGLE MARKをオンにしないとマルチアングルのマークは表示されません。

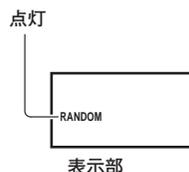
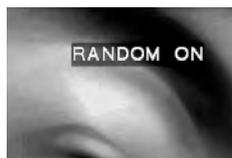
CD VCD ランダム再生

ディスク内のトラック(曲)を順不同に再生することができます。

- 停止中にリモコンのRANDOMキーを押す。



ランダムオンの表示が出ます。



リモコンのRANDOMキーを押すごとにランダムオン/オフが切り換わります。

- ▶/|| (PLAY/PAUSE)キーを押して、ランダム再生を開始します。

- 約2秒間操作しないと画面上的表示は消えます。

"MP3/JPEG ランダム再生" → 42

ランダム再生をやめるには

- (STOP)キーを押して再生を止める。
- RANDOMキーを押して、ランダム再生をやめる。

ランダム再生を繰り返す

ランダム再生中にリモコンのREPEATキーを押す。



ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

- ① REP-ONE (再生中のトラックのみ繰り返し)
- ② REP-ALL (ディスクを繰り返しランダム再生する)
- ③ REPEAT OFF (繰り返し再生の解除)



- ディスクのすべてのトラック(曲)をランダムに再生した後停止します。
- DVDの再生中はランダム再生できません。
- VCDでP.B.C.オンモードのときは、ランダムオンにすると、P.B.C.オンモードが解除されます。

DVD CD VCD リピート(繰り返し)再生

お好みのタイトル、チャプター、トラック(曲)またはディスク全体を繰り返し再生することができます。

DVD再生時

- "CHAPTER REPEAT" : 再生中のチャプターを繰り返し再生。
- "TITLE REPEAT" : 再生中のタイトルを繰り返し再生。

CD/VCD再生時

- "REP-ONE" : 再生中のトラックを繰り返し再生。
- "REP-ALL" : 再生中のディスク全体を繰り返し再生。

再生中にリモコンのREPEATキーを押す。



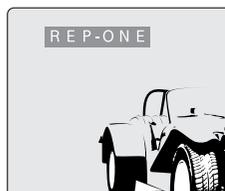
押すごとにリピートモードが切り換わります。

DVD再生時

- ① "CHAPTER REPEAT ON" : "REPEAT 1" 表示点灯
- ② "TITLE REPEAT ON" : "REPEAT 1ALL" 表示点灯
- ③ "REPEAT OFF"

CD/VCD再生時

- ① "REP-ONE" : "REPEAT 1" 表示点灯
- ② "REP-ALL" : "REPEAT ALL" 表示点灯
- ③ "REPEAT OFF"



リピートモードのとき点灯

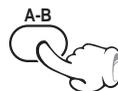


- リピート再生をやめるときは、REPEATキーを押して、"REPEAT OFF"を選びます。
- 約2秒操作しないと画面上の選択表示は消えます。

DVD CD VCD A-Bリピート再生

お好みの区間を繰り返し再生することができます。開始部分のA部から終了部分のB部まで繰り返し再生します。

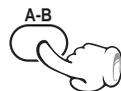
- ① リピートを開始したい位置でリモコンのA-Bキーを押す。



点灯



- ② リピートを終了したい位置にきたらA-Bキーを押す。AとBの区間を繰り返し再生します。



点灯



- A-Bリピート再生を解除するときにはA-Bキーを押します。
- 約2秒操作しないと画面上の選択表示は消えます。



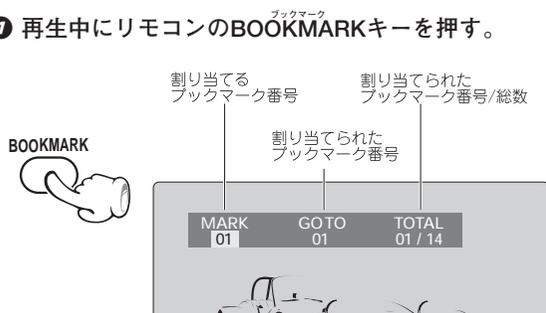
VCDでP.B.C.オンモードのときはリピート再生できません。

DVD CD VCD **ブックマーク機能を使う**

ブックマーク(しおり)を付けておくと、すぐにその場所に飛び越すことができます。ブックマークは14ヶ所まで付けることができます。

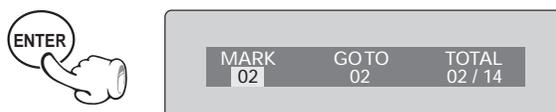
ブックマークを付ける

① 再生中にリモコンのBOOKMARKキーを押す。



② リモコンのカーソル上下(▲/▼)キーを押して、付けたいブックマーク番号を選ぶ。

③ マークを付けたいシーンにきたら、ENTERキーを押す。



- 同様にして、14のブックマークまで付けられます。
- すでにブックマークされている番号を選んでENTERキーを押すと新しい位置が記憶されます。

ブックマークされたシーンを呼び出す

① 再生中に、リモコンのBOOKMARKキーを押す。



② リモコンのカーソル右(▶)キーを押して、呼び出したいブックマーク番号を選ぶ。

カーソルをこの位置に移動する



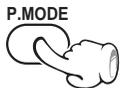
③ リモコンのカーソル上下(▲/▼)キーを押して、ジャンプしたいブックマーク番号を選び、ENTERキーを押す。

- 14を越えた後もブックマークを付けることができますが、前に付けたブックマークが新しいブックマークに入れ替わります。
- ディスクによってはブックマーク機能が働かないものがあります。
- VCDでP.B.C.オンモードのときはブックマーク機能は働きません。

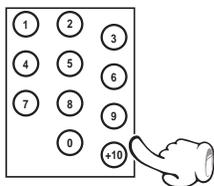
CDまたはDVDの好きなトラック(曲)を好きな順にプログラムして聞くことができます。

プログラムをする

① 停止中に、リモコンの^{プログラムモード}P.MODEキーを押す。



② リモコンの数字キー、+10キーで、好きなトラックを選ぶ。



●MP3やJPEGのディスクはこのプログラムモードではプログラムできません。 39

③ 手順②を繰り返し、30トラックまでプログラムすることができます。

● CLEARキーを押すと、最後に選んだトラックを削除できます。

④ ▶/|| (PLAY/PAUSE)キーを押してプログラム再生を開始します。

- 再生後のプログラムの追加はできません。
- ■ (STOP)キーを押すと再生を停止します。

プログラム再生を繰り返す

プログラム再生中にリモコンの^{リピート}REPEATキーを押す。



押すごとにモードが切り換わります。

- ① ^{リピート} "REP-ONE" ^{オン}
- ② ^{リピート} "REP-ALL" ^{オール}
- ③ ^{リピート} "REPEAT OFF" ^{オフ}

プログラム再生をやめるには

停止中にリモコンの^{プログラムモード}P.MODEキーを押す。



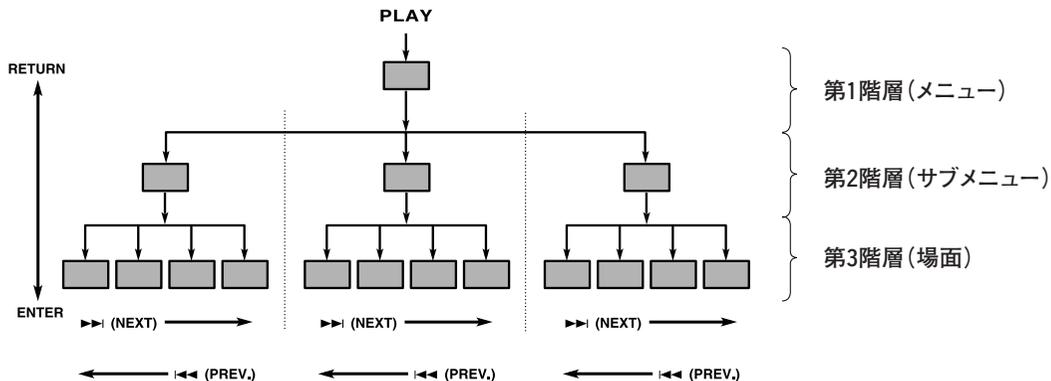
次の場合プログラム再生が解除されます。

1. トレイを開閉したとき。
2. 電源をオン、オフしたとき。

VCDメニューの階層構造について

メニュー画面の含まれている、P.B.C.付きVCD(ビデオCD)を再生したとき、メニュー画面で項目を選ぶと、さらに詳細な項目のメニューが表示されることがあります。このように、いくつものメニューが段階的につながり、重なり合っている状態を階層構造といいます。繰り返しメニュー画面で選んでいくことで、目的の場面に到達できます。

階層構造の一例



進むとき

数字キーを使ってメニュー画面で項目を選ぶと、一つ下の階層メニューへ進みます。進んだ先が、再生される「場面」のときは、その内容が再生されます。

戻るとき

RETURNキーを押すたびに、一つ上の階層のメニューへ戻っていきます。

VCD再生時に使われる主な操作キーと表示例

ソフトジャケットの表示	▶	🎧	◀◀	▶▶	▶ (Select)
KENWOODの操作キー	▶/	RETURN	◀◀	▶▶	ENTER

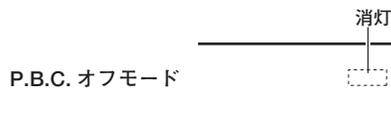
ジャケットの表示は、ソフトによって上記と異なるものもあります。

VCD P.B.C.機能付きVCDで、メニュー再生機能を使わない再生 (P.B.C.メニュー機能オフ)をするには

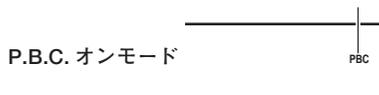
VCDの再生または停止中に、リモコンのTOP MENU/P.B.C.キーを押す。



- トラック番号は、ディスクのジャケットなどを参照してください。
- P.B.C.オフモード：メニュー再生機能無しで再生。



メニュー再生 (P.B.C.メニュー機能オン)に戻すには
TOP MENU/P.B.C.キーを再度押す



再生中にP.B.C.を切り換えると再生は停止します。

MP3、JPEGの手引き

本機で再生できるMP3、JPEG メディアについて

- 使用できるメディア : CD-ROM、CD-R、CD-RW
 使用できるフォーマット : ISO9660 level 1 (拡張フォーマットを除く)
 再生できるファイル : MP3 ファイル、JPEGファイル (プログレッシブJPEGを含む)

本機で再生するメディアの作成について

MP3ファイルに圧縮するとき

MP3ファイルに圧縮するときは、圧縮ソフトの転送ビットレートを次のように設定してください。

MP3 ファイル : 推奨128kbps (32kbps-320kbps)

- 本機は32 kHz、44.1 kHz (推奨)、48 kHz のサンプリング周波数に対応しています。
- 本機はID3-TAG Ver. 1. に対応しています。
- MP3データのデジタル出力はMP3データのままでなく、PCMデータとして出力されます。

ファイル名や、フォルダ名を付けるとき

ファイル名や、フォルダ名は半角英字のA～Z、半角数字の0～9、半角の _ (アンダースコア) を使って付けてください。

ファイル名には必ず拡張子 "mp3" (MP3ファイル) または "jpg" (JPEGファイル) を付けます。

- MP3以外のファイルに "mp3" の拡張子を絶対に付けしないでください。MP3以外のファイルに "mp3" の拡張子が付いていると本機が再生しようとして、大きな雑音が出て、スピーカーなどが故障する恐れがあります。
- JPEG以外のファイルに "jpg" の拡張子を絶対に付けしないでください。JPEG以外のファイルに "jpg" の拡張子が付いていると正常に動作しません。

メディアとファイルの確認をする

MP3ファイルをメディアに書き込む前に、書き込みをするパソコンで、そのファイルが正しく再生されることを確認してください。

また、書き込まれたファイルが正しく再生されることを確認してください。

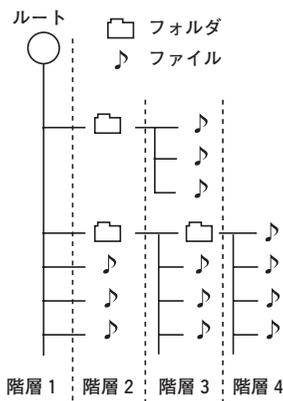
- メディアに書き込んでる途中では、ファイルが正しく再生されることを確認することはできません。

メディアに書き込むとき

書き込んだメディアは必ずセッションクローズまたはファイナライズをしてください。セッションクローズまたはファイナライズされていないメディアを本機で再生すると、正しく再生できない場合があります。

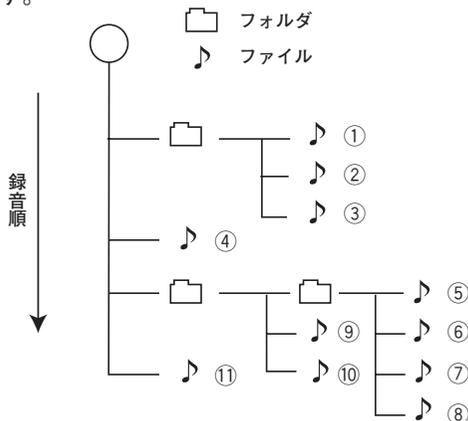
- 書き込みソフトによっては、書き込まれたフォルダ名やファイル名が正しく表示されない場合があります。
- 本機で再生するMP3、JPEG以外のファイルや、フォルダなどを書き込まないようにしてください。
- MP3ファイルをメディアに書き込むときは、10セッション以内で書き込むことをおすすめします。
- マルチセッションディスクの場合、再生が始まるまで時間がかかることがあります。
- MP3、JPEG のファイル (CD-ROM) と音楽CD (CD-DA) を1枚のメディアに書き込むと再生できない場合があります。

階層構造の例



再生順の例

下の図の例では①～⑪の順に再生されます。



MP3、JPEGファイルの再生

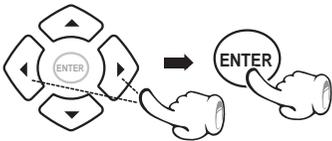
- メディアの限界を超えた数のファイルや、フォルダの再生はできません。
- ディスクの記録された情報を読みとって、再生が始まるまで多少時間がかかることがあります。

再生

- ① 停止中に、リモコンのREPEATキーを押して、再生モードを選ぶ。



- ② リモコンのカーソル左右(◀/▶)キーを押して再生するフォルダおよびファイルを選び、ENTERキーを押して再生を開始する。



- JPEGファイルを再生すると、画像が、次々と切り換わります。(スライドショー)
切り換わる早さはファイルの容量によって変化します。

再生を止めるときは■ (STOP)キーを押します。



- MP3またはJPEGディスクをセットするとテレビ画面にスマートナビ画面が表示されます。

押すごとに、再生モードが切り換わります。

- ① DISC REP : 選択したディスクを繰り返し再生。(REPEAT ALLが点灯)
- ② DISC SCAN : 選択したディスクのすべてのファイルを10秒間ずつ再生。(1ALLが点灯)
- ③ SINGLE : 選択したファイルを再生。(1が点灯)
- ④ FOLDER : 選択したフォルダを再生。
- ⑤ REP-ONE : 選択したファイルを繰り返し再生。(REPEAT 1が点灯)
- ⑥ FOLDER REP : 選択したフォルダを繰り返し再生。(REPEATが点灯)
- ⑦ DISC : 選択したディスクを再生。(ALLが点灯)

スマートナビ画面



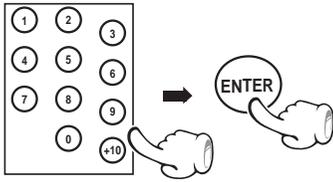
- 経過時間を表示したいときは、リモコンのON SCREEN DISPLAYキーを押します。



- ファイル名は、半角11文字まで表示されます。

再生するファイルを直接選択する

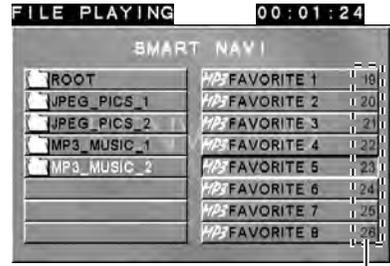
リモコンの数字キーで再生したいフォルダまたはファイル番号を押す。



(例)

トラック番号 23を選ぶ: **+10** **+10** **3**

- フォルダを選んだ場合フォルダの内容が表示されます。
- ファイルを選んだ場合選んだファイルが再生します。



ファイル、フォルダ番号

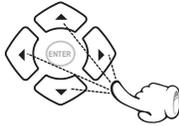


番号を選ぶにはスマートナビ画面を参照してください。本機の表示部に表示される番号はフォルダごとの番号が表示されるため、数字キーで選んだ番号とは異なります。

画像を回転させる(JPEGファイルのみ)

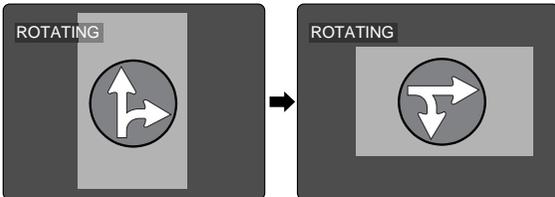
画像を回転させて表示することができます。

JPEGファイルを再生中にリモコンのカーソル(◀/▶/▲/▼)キーを押す。

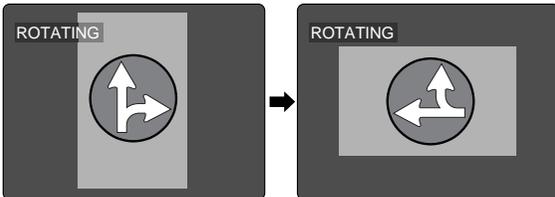


表示例

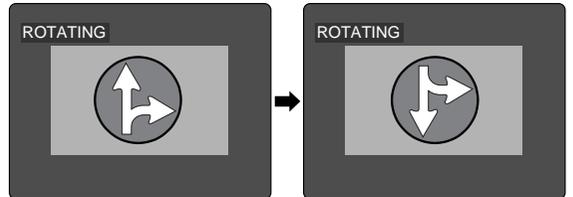
▶キーを押したとき



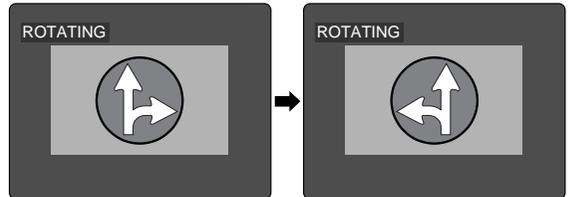
◀キーを押したとき



▲キーを押したとき



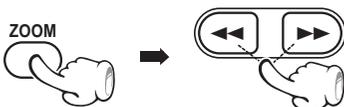
▼キーを押したとき



画像を拡大・縮小する(JPEGファイルのみ)

画像を拡大・縮小させて表示することができます。

JPEGファイルを再生中にリモコンのZOOMキーを押し、◀◀/▶▶(サーチ)キーを押す。



◀◀/▶▶(サーチ)キーを押すと次のように切り換わります。

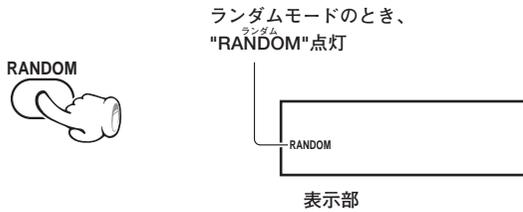
- ▶▶ キー: 画像の拡大
- ◀◀ キー: 画像の縮小

- ZOOMモード中は、画面に画像の倍率が表示されます。
- ZOOMモードを解除するには、もう一度ZOOMキーを押します。

MP3、JPEGランダム再生

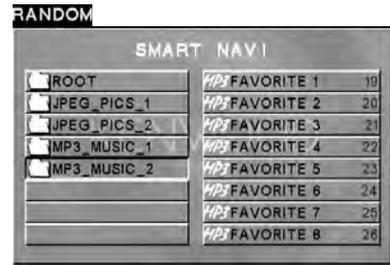
再生中のフォルダのファイルをランダム(順不同)に再生することができます。

- ① 停止中に、リモコンの^{ランダム}RANDOM キーを押す。



リモコンの^{ランダム}RANDOM キーを押すたびにオン、オフを繰り返します。

- ② ^{ランダム}ランダム再生するフォルダのファイルを選び、^{プレイ}▶/|| (PLAY/PAUSE)キーを押します。
ランダム再生がスタートします。



- ^{ランダム}RANDOM ^{オン}ON モードのときフォルダ内のファイルをすべて1回ずつランダムに再生して停止します。

ランダム再生を取り消すには

- ① ■ ^{ストップ}(STOP)キーを押して、再生を停止する。



- ② ^{ランダム}RANDOMキーを押して、ランダムモードを取り消す。



ランダムリピート再生をするには

停止中に、リモコンの^{ランダム}RANDOMキーを押した後、^{リピート}REPEATキーを押す。

- ランダムリピートモードのとき、フォルダ内のすべてのファイルをランダムに繰り返し再生します。この場合、同じファイルが続けて再生されることもあります。

ランダムリピート再生を取り消すには

- ^{ストップ}(STOP)キーを押して、ランダムリピート再生を停止させ、^{リピート}REPEATキーまたは^{ランダム}RANDOMキーを押す。

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に、症状に合わせて一度チェックしてみてください。

マイコンをリセットするには

電源がオンの時の電源コードの抜き差しや、外部からの要因により、マイコンが誤動作(操作できない、表示部の誤表示など)することがあります。この場合、電源スイッチを切り、数秒してから再度電源スイッチを入れてください。
右の手順でマイコンがリセットされ、工場出荷状態に戻ります。

Ⓜ (POWER)キーを押して電源をオフにし、電源プラグをコンセントから抜いたのち、Ⓜ (POWER)キーを押しながら、電源プラグをコンセントに差し込む。

●リセットにより、各種の記憶内容は消去され、工場出荷時の状態となります。ご了承ください。

DVD プレーヤー部

症状	原因	処置
▶/Ⓜ(PLAY/PAUSE)キーを押しても、再生が始まらない。	<ul style="list-style-type: none"> ディスクが入っていない。 信号が記録されていない面を再生している。 CD-R/RW等のメディアで、クローズセッションしていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ディスクを入れて、▶/Ⓜ (PLAY/PAUSE)キーを押す。 ディスクを裏返して正しく入れ直す。 メディアを、クローズセッションする。
再生が始まって、映像/音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> TVの電源が入っていない。 接続コード類が正しく接続されていない。 インターレースのTVでプログレッシブが設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> TVの電源を入れる。 → 13 → 14 正しく接続し直す。 インターレースモードに切り換える。 → 18
再生時、早送り、で、画像が乱れる。	<ul style="list-style-type: none"> 早送り、早戻し時は、多少画面が乱れます。 	<ul style="list-style-type: none"> 故障ではありません。
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> 音声出力コードが正しく接続されていない。 T V、アンプなどの音量調節がされていない。 特殊な再生モードになっている。 オーディオ出力の設定が違っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 正しく接続し直す。 → 13 ~ 15 適正な音量に調節します。 ▶/Ⓜ(PLAY/PAUSE)キーを押して通常モードにします。 正しく設定する。 → 19 → 23
きれいに映らない、画質/音質がよくない。	<ul style="list-style-type: none"> 雑音源と思われる他の機器が、そばにある。 ディスクが汚れている。 ディスクに傷がついている。 光学レンズが結露している。 	<ul style="list-style-type: none"> 本機と、雑音源と思われる他の機器をできるだけ離す。 “ディスク取扱上のご注意”を参照し、汚れをふきとる。 新しいディスクと交換する。 → 12 “露付きにご注意”を参照し、露を蒸発させる。
再生が始まるまでに時間がかかる。	<ul style="list-style-type: none"> ディスクの種類やサイズの検出、モーターの回転を安定させるため、故障ではありません。 	<ul style="list-style-type: none"> ディスクによって異なりますが、約10~20秒程度待ちます。
トレイが自動的にオープンする。	<ul style="list-style-type: none"> ディスクが斜めに入っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ディスクを入れ直す。
画面の上下が欠ける。	<ul style="list-style-type: none"> 再生したいディスクのビデオフォーマットと接続したテレビのビデオフォーマットの関係が合っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> “テレビ画面のビデオフォーマットについて”を参照し、正しいフォーマットのディスクと、テレビを使用します。 → 11
字幕がでない。	<ul style="list-style-type: none"> 字幕の入っていないDVDディスクを再生しようとしている。 字幕モードがオフになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 字幕の入っていないDVDディスクは字幕が表示されません。 SUBTITLEキーを押して、字幕モードをオンにする。 → 32
音声(または字幕)言語が切り換えられない。	<ul style="list-style-type: none"> 複数の音声(または字幕)言語の入っていないDVDディスクを再生しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 複数の音声(または字幕)言語の入っていないDVDディスクは、言語を切り換えられません。
アングルを切り換えて見ることができない。	<ul style="list-style-type: none"> 複数のアングルが記録されていないDVDディスクを再生しようとしている。 DVDディスクの複数のアングルが記録されていない部分でアングルを切り換えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 複数のアングルが記録されていないDVDディスクは、アングルを切り換えられません。 複数のアングルは、特定の部分のみ記録されている場合があります。

DVD プレーヤー部

症状	原因	処置
タイトルを選んでも、再生が始まらない。	● 視聴制限 (RATING) が設定されている。	● 視聴制限 (RATING) の設定を確認してください。
視聴制限 (RATING) が変更できない。	● 視聴制限 (RATING) で設定したパスワードを忘れた。	● 以下の手順でパスワードをリセットしてください。 ① ▲ (OPEN/CLOSE) キーを押し、トレイを開ける。 ② リモコンのSETUPキーを押し、SETUP MENUを表示させる。 ③ リモコンの数字キーを [8], [8], [0], [0] の順に押す。 ④ リモコンのSETUPキーを押す。 ⑤ リモコンのSUBTITLEキーを押す。 ⑥ ㊦ (POWER) キーを押し、スタンバイモードにする。 ⑦ ㊦ (POWER) キーを押し、電源をオンにする。 工場出荷時のパスワードは“0000”に設定されています。
初期設定で選んだ音声言語、字幕言語にならない。	● 再生しようとしているDVDディスクに選んだ音声言語や字幕言語が入っていない。 ● DVDディスクで初期再生言語が指定されていない。 ● DVDディスクの仕様でメニュー画面で選ぶようになっている。	● 選んだ音声言語や字幕言語が入っているDVDディスクに交換する。 ● リモコンのSUBTITLEキーまたはAUDIOキーで言語を設定する。 ● ディスクのメニュー画面で選ぶ。
希望の言語でメニュー画面のメッセージがでない。	● ディスクメニュー言語機能 (MENU) で言語が設定されていない。	● ディスクメニュー言語を設定する。
VCDのメニュー再生ができない。	● プレイバック・コントロール付き以外のVCDを再生しようとしている。	● プレイバック・コントロール付きのVCD以外は、メニュー再生できません。
ディスクトレイのオープンクローズ操作を受け付けない。	● 操作が禁止されている	● 本体の■ (STOP) キーを押しながら、リモコンのMENUキーを数秒間押し続ける。 本体に“LOCK OFF”と表示され操作ができるようになります。

リモコン部

症状	原因	処置
リモコンで操作できない。	● 電池切れ。 ● 操作する位置が遠すぎる、角度がずれている。または障害物がある。	● 新しい電池に入れ換える。 ● 操作範囲内で操作する。

禁止アイコン

症状	原因	処置
 禁止アイコンが表示され、リモコンで操作できない。	● ソフト制作者が意図して再生制限状態にしてある。	● 操作できませんので、他の操作をしてください。

本機は、マクロビジョンコーポレーションおよび他の権利保有者が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許可が必要であり、同社の許可がない限りは一般家庭およびそれに類似する限定した場所での視聴に制限されています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。

本機は、すべての高解像度テレビと互換性があるというわけではないことをご了承ください。そのため、画像がみだれて表示されることがあります。プログレッシブスキャン (525p 順次走査) 再生時に問題がありましたら、映像の出力形式を、通常解像度側に切り替えることをお勧めします。525p DVDプレーヤーとの接続について、ご不明な点は、最寄りのケンウッドカスタマーサポートセンター窓口にお問い合わせください。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。DOLBY 及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

「DTS」及び「DTS Digital Out」はデジタルシアターシステムズの登録商標です。



保証書(別途添付)

製品には保証書が(別途)添付されております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。(お問い合わせ先は、添付の「ケンウッドサービス網」をご覧ください。)

補修用性能部品の保有期間

当社は、このステレオの補修用性能部品の、製造打ち切り後8年保有しております。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

シリアル番号について

システム商品の各機器にシリアル番号が付けられておりますが、保証書にはシステム管理用として、別のシリアル番号が印刷されております。

付属の保証書で、お買い上げのシステム機器(基本システム)すべての保証修理が受けられます。

修理を依頼される時は

「故障かな?と思ったら」に従って調べていただき、なお異常がある時は、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

保証期間中は

保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービス窓口が修理をさせていただきます。

修理に際しましては保証書をご提示ください。

保証期間が過ぎている時は

保証期間が過ぎている時は、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

出張修理／持込修理

「出張修理」、「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。出張修理を依頼される時は、次のことをご知らせください。

- 製品名
- 製造番号 (Serial No.)
- お買い上げ年月日
- 故障の症状(できるだけ具体的に)
- ご住所(ご近所の目印等も併せてお知らせください)
- お名前、電話番号、訪問ご希望日

修理料金の仕組み

(有料修理の場合は、次の料金をいただきます)

- 技術料: 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
- 部品代: 修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料: 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。
- 送料: 郵便、宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などを行うにあたって、お客様に負担していただく場合があります。

お買い上げ店名

電話 () -

製品に対するお問合せ、アフターサービスについてのお申し込みは、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお申しつけください。

北海道			
札幌サービスセンター	☎007-0834	札幌市東区北34条東14-1-23	☎(011) 743-7740
東北			
仙台サービスセンター	☎984-0042	仙台市若林区大和町5-32-12(サンライズ大和)	☎(022) 284-1171
盛岡サービスステーション	☎020-0124	盛岡市厨川4-5-11	☎(019) 646-2311
関東・甲信越			
埼玉サービスセンター	☎362-0032	埼玉県上尾市日の出3-9-1	☎(048) 775-9730
千葉サービスセンター	☎277-0081	柏市富里1-2-1	☎(04) 7163-1441
東京サービスセンター	☎169-0073	新宿区百人町2-16-15(MYビル1F)	☎(03) 3363-1650
神奈川サービスセンター	☎226-8525	横浜市緑区白山1-16-2	☎(045) 939-6242
静岡サービスステーション	☎420-0816	静岡市沓谷5-61-1	☎(054) 262-8700
新潟サービスステーション	☎950-0923	新潟市姥ヶ山1-5-37	☎(025) 287-7736
中部			
名古屋サービスセンター	☎462-0861	名古屋市北区辻本通1-11	☎(052) 917-2550
金沢サービスステーション	☎920-0036	金沢市元菊町21-87	☎(076) 265-5045
松本サービスステーション	☎390-0832	松本市南松本2-7-30(昭和ビル2F)	☎(0263) 26-7331
近畿・四国			
大阪サービスセンター	☎532-0034	大阪市淀川区野中北2-1-22	☎(06) 6394-8075
高松サービスステーション	☎760-0068	高松市松島町3-1	☎(087) 835-2413
中国			
広島サービスセンター	☎731-0137	広島市安佐南区山本1-8-23	☎(082) 832-2210
九州			
福岡サービスセンター	☎815-0035	福岡市南区向野2-8-18	☎(092) 551-9755
鹿児島サービスステーション	☎890-0063	鹿児島市鴨池2-15-10(パレス鴨池1F)	☎(099) 251-6347
沖縄サービスステーション	☎901-2132	浦添市伊祖1-5-2	☎(098) 874-9010
カスタマーサポートセンター			
カスタマーサポートセンター	☎226-8525	横浜市緑区白山1-16-2 3F	☎(045) 933-5133 FAX (045) 933-5553
カスタマーサポートセンター大阪	☎532-0034	大阪市淀川区野中北2-1-22	☎(06) 6394-8085 FAX (06) 6394-8308

- ケンウッドサービス窓口 営業時間のご案内
月曜日～金曜日(土曜、日曜、祭日及び当社休日を除く)午前10時から午後6時まで
- カスタマーサポートセンター 営業時間のご案内
月曜日～金曜日(土曜、日曜、祭日及び当社休日を除く)午前9時から午後6時まで
(各サービス窓口の名称、所在地、電話番号は変更になることがありますのでご了承ください)

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒192-8525 東京都八王子市石川町 2967-3

商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。
アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、「ケンウッドサービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービス
窓口にご相談ください。